## （４）令和５年度予算の確保に向けた国への要望について

本県では、政府予算案策定に向けて、本県の施策の展開に必要な予算確保や政策実現に必要な重要課題等について、国への要望を行っているところです。

今回、県土整備部からは、下記４項目について国土交通省等に要望しました。

### １　要望活動日

令和４年 11 月 16 日(水)～18 日(金)

### ２　要望項目（詳細は別冊資料のとおり）

① 災害に屈しない県土づくりのための防災・減災、国土強靭化の協力かつ計画的な推進

② 安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進

③ 災害に強い県土づくりのための河川・海岸整備の推進

④ 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進

### ３　要望先

内閣官房、財務省、国土交通省

令和5年度予算の確保に向けた

# 国への要望

（県土整備部関係分）

令和4年11月

三重県

着実に進む社会資本整備

# 感　謝

三重県知事

一見　勝之

国土強靱化予算により社会資本整備が加速しています。

令和４年度予算　７９５億円

（うち国土強靱化予算　１７１億円）

※県土整備部令和３年度１月補正予算含みベース
























# 1　災害に屈しない県土づくりのための防災・減災、国土強靱化の強力かつ計画的な推進

三重県

| | |
|---|---|
| 要望内容 | 1　地方自治体が中長期的な見通しのもと、強力かつ計画的に防災・減災、国土強靱化を推進するため、**現下の資材価格の高騰等も踏まえ、必要かつ十分な予算を確保**するとともに、5か年加速化対策後も、引き続き、必要な予算・財源を**計画的かつ安定的に別枠で確保**すること。<br>2　災害発生時における地方自治体への迅速な支援に加え、地域の防災・減災、国土強靱化を加速化するため、**地方整備局等の人員の確保・充実**を継続的に図ること。 |

## 必要かつ十分な国土強靱化予算の確保

**5か年加速化対策により防災対策が加速**

令和２年度１１３億円⇒令和３年度２２６億円⇒令和４年度１７２億円

対策例：一般県道香良洲公園島貫線　香良洲橋（津市）



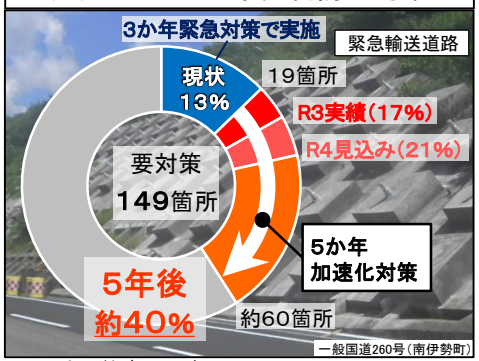

国土強靱化予算を活用して橋梁を架け替え




渡河部橋梁の架け替え対策により、橋梁流出を防止

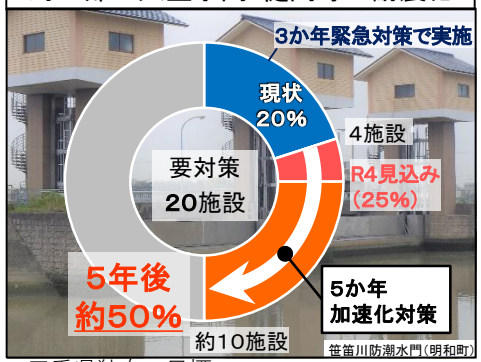
**県独自の５年後の達成目標を設定し、国土強靱化を強力かつ計画的に推進！**

法面･盛土の土砂災害防止対策




三重県独自の目標

河口部の大型水門･樋門等の耐震化




三重県独自の目標

全18の対策メニューで５年後の達成目標を設定

**必要かつ十分な予算の計画的・安定的な確保を！**

## 国土強靱化について、県民の理解を醸成する取組に注力

防災・減災、国土強靱化のための対策を行っている現場において、**対策の目的や効果等をわかりやすくお伝えするための広報看板を設置。**またＳＮＳも活用して情報を発信。

工事看板




事業内容の広報看板






国土強靱化地域計画策定ガイドライン（令和4年7月・内閣官房国土強靱化推進室）で事例紹介いただきました

## 地方整備局等の人員確保

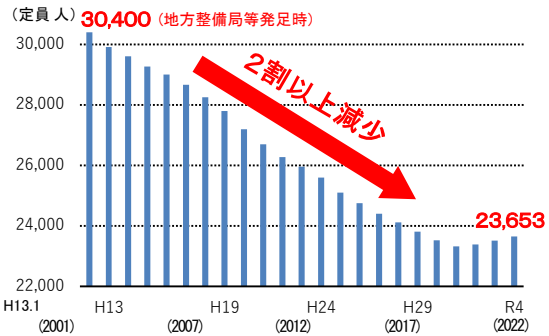
地方整備局等の定員は、この３年間は微増したが、発足時に比べて**２割以上減少**

災害時の迅速な地方自治体支援や事前防災・減災対策等に従事する**人員はまだまだ必要**



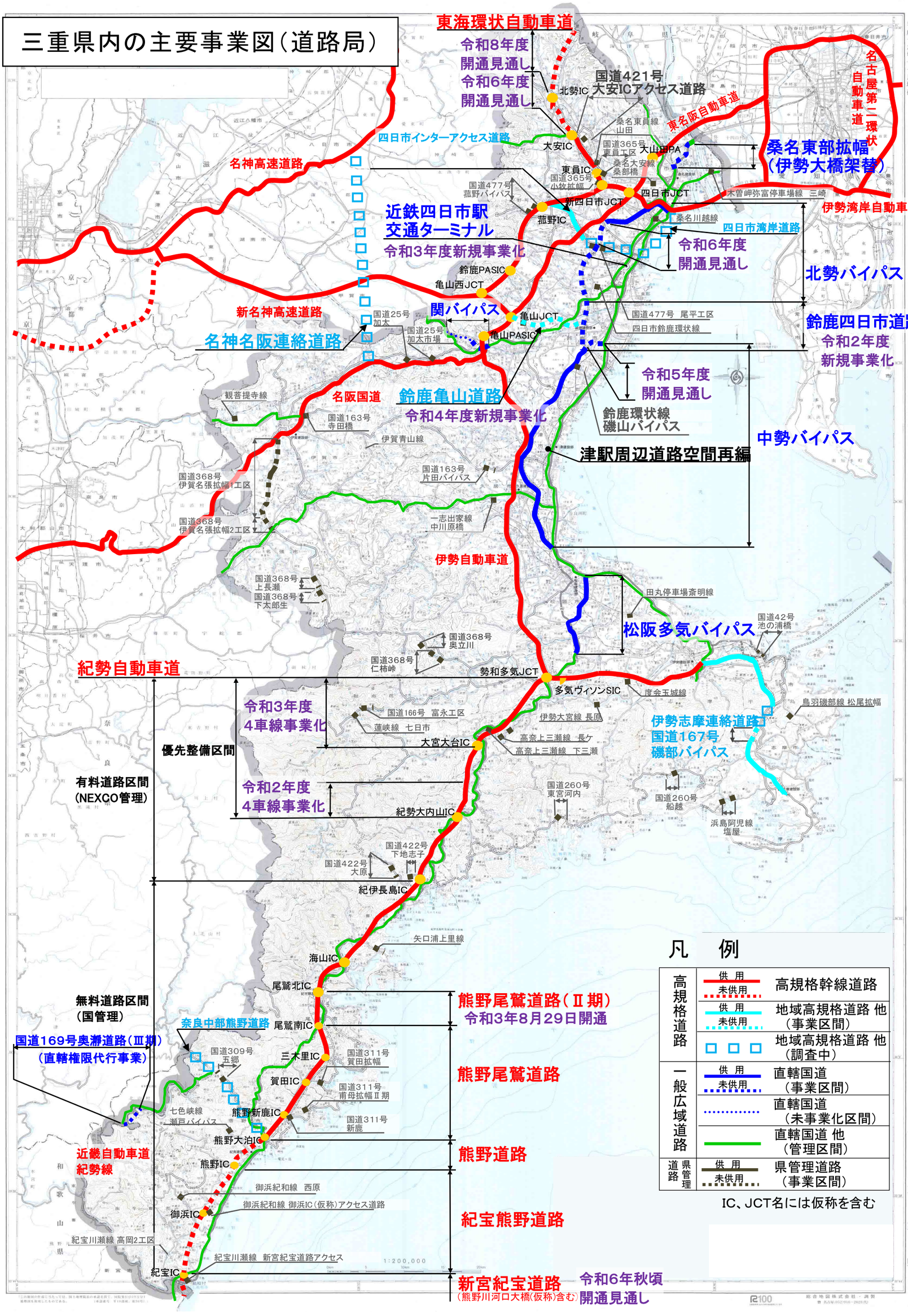
紀伊半島大水害時における
TEC-FORCEによる支援状況

地方整備局・北海道開発局の定員の推移




**地方整備局等の人員の継続的な確保・充実を！**

# 三重県内の主要事業図（道路局）



## 2　安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進

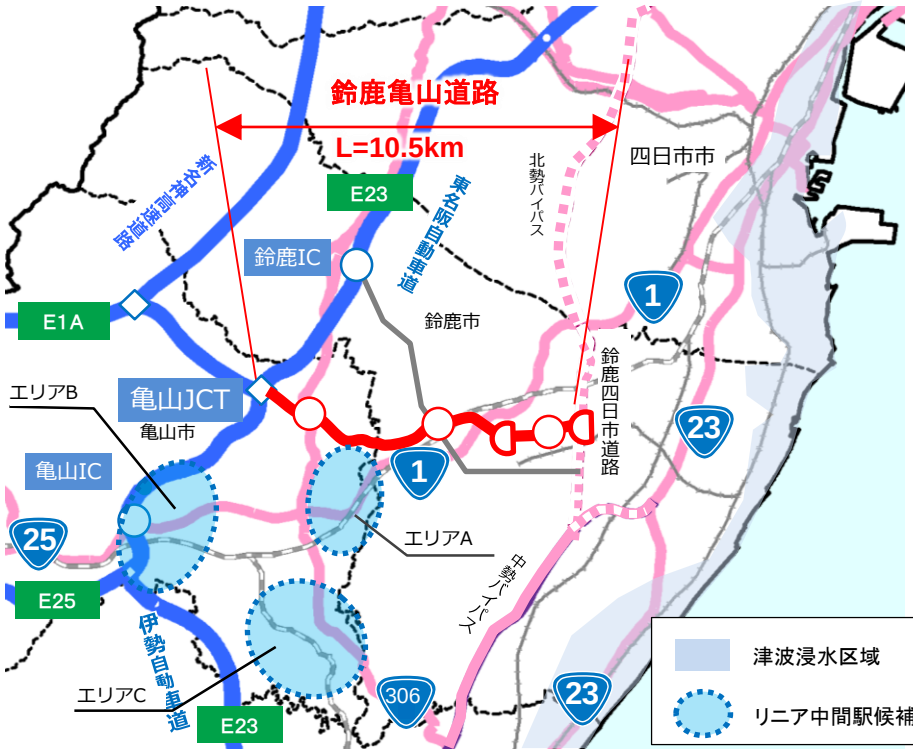
# 鈴鹿亀山道路の有料道路事業の活用など整備手法の検討支援

三重県

| | |
|---|---|
| 要望内容 | 令和４年度新規事業化された**鈴鹿亀山道路**について、**早期整備等**のため、**有料道路事業の活用など整備手法の検討を支援**すること。 |

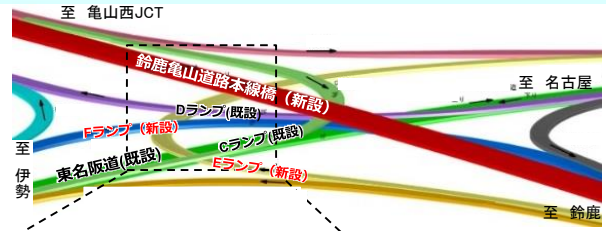
**三重県のさらなる産業発展を支え、災害時に機能する鈴鹿亀山道路**

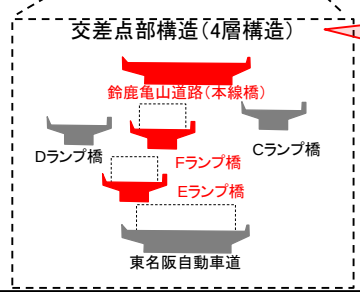
## 令和４年度 新規事業化 <県管理道路で整備>




【高速道路へのアクセス性向上】
・鈴鹿市街地から亀山JCTまで　40分⇒15分（約25分短縮）※混雑時
【防災性の向上】
・鈴鹿市周辺の国道1号・23号では津波浸水による寸断が想定されるが
高速道路から沿岸部へのルート確保で、迅速な復旧・復興が可能に！

## 早期整備が必要であるが、技術的難易度が高い構造物が多く事業費が多額

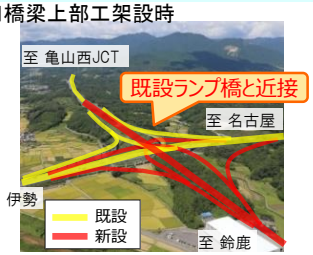


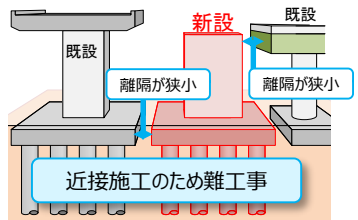

ランプが輻輳する中での難工事

**事業費 約５００億円 暫定２車線**

■橋梁上部工架設時

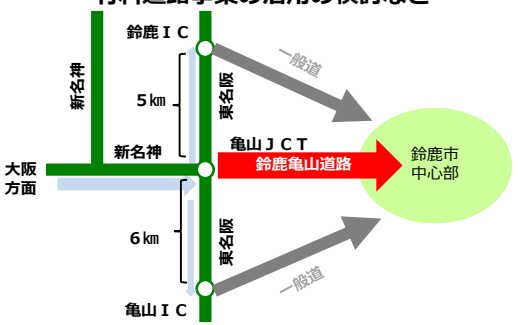



■下部工施工時




### ①早期整備のための整備手法の検討

**有料道路事業の活用の検討など**




### ② 用地取得体制の強化

**５月11日事業推進会議を開催**

三重県・鈴鹿市・亀山市・土地開発公社



## 2　安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進

### 「命の道」紀伊半島一周高速道路の早期実現、紀勢自動車道および熊野尾鷲道路の４車線化の早期整備

三重県

| | |
|---|---|
| 要望内容 | 1　地方創生、国土強靱化に資する「命の道」近畿自動車道紀勢線のミッシングリンク解消に向けて**熊野道路**、**紀宝熊野道路**および**新宮紀宝道路**の整備を推進し、**高速道路紀伊半島一周を早期実現**すること。<br>2　**紀勢自動車道**および**熊野尾鷲道路**について、**４車線化事業中区間の早期完成**を図るとともに、**暫定２車線区間の４車線化の早期事業化**に向けて、有料制度の活用など安定的な財源の確保について、地域の意見もふまえ検討すること。 |

## 「命の道」紀伊半島一周高速道路の早期実現を！




熊野道路（6.7km）
平成26（2014）年度事業化

令和４年３月
初のトンネル工事着手！

整備推進を

紀宝熊野道路（15.6km）
令和元（2019）年度事業化

令和２年度から用地着手！

用地予算の確保を

新宮紀宝道路（2.4km）
平成25（2013）年度事業化

熊野川河口大橋（仮称）
完成間近！

令和６(2024)年秋頃
開通予定に向けて
着実な整備を




**三重県南部**は企業の集積が少なく、人口減少率も高い状況のなか、
地域ならではの豊かな自然等を生かした
**観光**が主要産業

県全体▲2.51%で人口減少、
南部では**▲14.1%**の町も！
（2015～20国勢調査人口から計算）

➡　**観光誘客・交流人口増を支える紀勢線の整備推進を！**

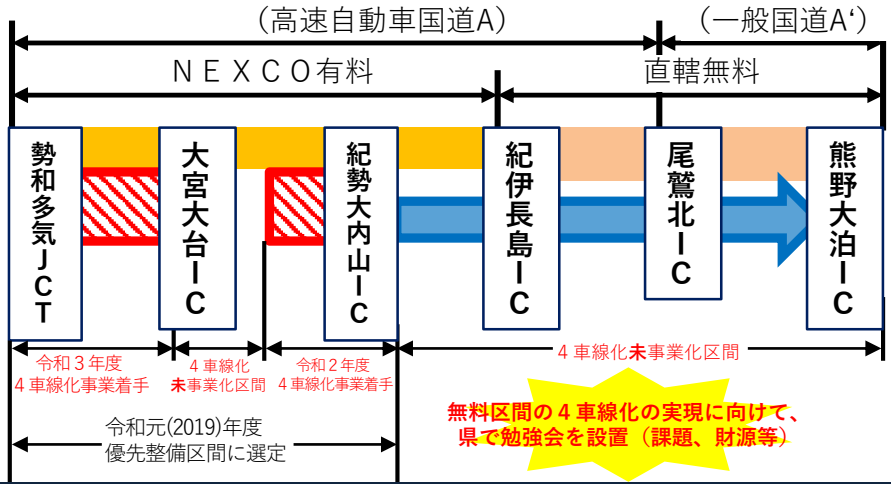









## 紀勢自動車道および熊野尾鷲道路の４車線化早期整備を！




【要望先：財務省、国土交通省】（所管部局：県土整備部）

## 2　安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進

# リニア中央新幹線の三重県駅を核とした道路ネットワーク・まちづくりの検討支援

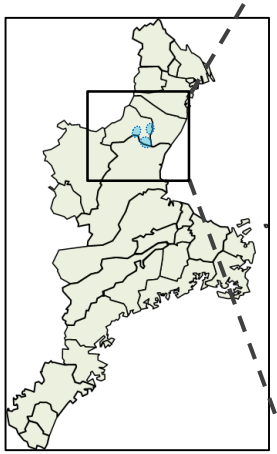
三重県

| 要望内容 | リニアインパクトの最大化に向け、**三重県駅を核とした道路ネットワーク・まちづくりについて支援**すること。 |
|---|---|

**・リニア中央新幹線の高速性を最大限に生かして、得られる効果を広域に波及させるため、三重県駅と高速道路との直結アクセスや広域道路ネットワークの強化が必要！**
**・リニア中央新幹線の三重県駅から始まる新たな地方創生に取り組むため、三重県の玄関口としての駅周辺のまちづくりが必要！**

**三重県駅候補地選定スケジュール（三重県想定）**

| | |
|---|---|
| 2021 | ・亀山市案の検証・評価 |
| 2022 | ・市町や経済団体との意見交換<br>・「三重県駅」としての駅候補地を決議【県期成同盟会総会】<br>・JR東海へ要望 |
| 2023～2026 | ・JR東海による環境影響評価<br>①計画段階環境配慮書<br>→ **ルート（3km幅）、駅位置（直径5km円）**<br>②環境影響評価方法書<br>③環境影響評価準備書<br>→ **ルート、駅位置の決定**<br>④環境影響評価書 |
| 2027 | ・工事実施計画の申請・認可<br>・建設工事の着手（予定） |
| 2037 | 全線開業（予定） |



駅候補地案概略位置図




（国土地理院地図を元に県が加工）

駅候補地案　各エリアの主な特徴

| | まちづくり |
|---|---|
| エリアA | 住宅団地が立地するとともに、産業拠点や鈴鹿市街地等にも近く、産業・商業面等での相乗効果が期待できる。 |
| エリアB | 産業拠点や歴史文化資源にも近く、産業・観光面等での相乗効果が期待できる。 |
| エリアC | 県都や主要観光地にも近く、産業・学術研究・観光面での広域的な連携が期待できる。 |

【要望先：財務省、国土交通省】（所管部局：県土整備部）

## 2　安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進

### 東海環状自動車道の整備推進、新名神高速道路６車線化の早期事業化、東名阪自動車道大山田ＰＡスマートＩＣ（仮称）の調査推進

三重県

| | |
|---|---|
| 要望内容 | 1　**東海環状自動車道**について、令和８（2026）年度の全線開通に向けて着実に**整備を推進**すること。<br>2　**新名神高速道路**四日市ＪＣＴ～亀山西ＪＣＴ間の**６車線化の早期事業化**と**財源を確保**すること。<br>3　東名阪自動車道**大山田ＰＡスマートＩＣ**（仮称）について、国による準備段階**調査に早期着手**すること。 |

### 中京圏のものづくりを支え、地域活性化に寄与する東海環状自動車道

#### 開通を見越して沿線の観光・産業が活発に

令和４年５月 **用地取得完了！**




**宇賀渓キャンプ場**

**令和５年４月 開業予定！**



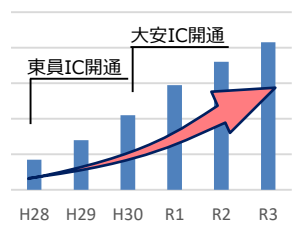

※Hygge(ヒュッゲ)：豊かな時間の過ごし方や暮らし方、心の持ち方

デンマーク発の
Hygge（ヒュッゲ）を
体感できる
アウトドアフィールド

大安IC、北勢ICからアクセスが良く、多くの利用者の来訪を期待しています。

いなべ市担当者の声

**工場立地件数(累計)の推移（三重県北勢地域）**

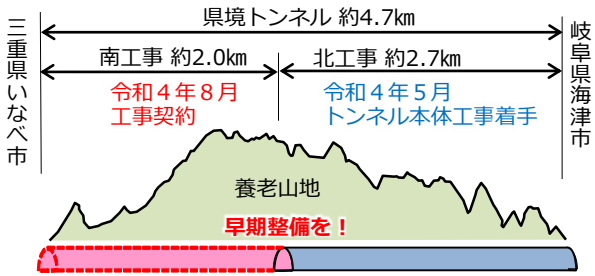



平成28年以降
83件が新規立地

北勢ICの完成を見越して工場を進出しました。１日も早い開通を期待してます。

立地企業の声

#### 全線開通に向けて工程の要となる県境トンネル工事



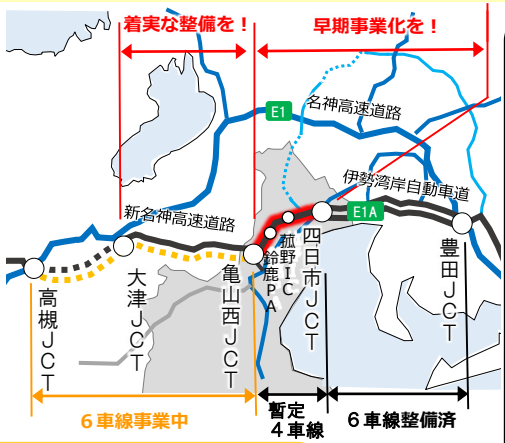

令和４年８月 **工事契約!**




着実に進むトンネル坑口周辺工事

### 物流の効率化に寄与し、生産性向上に資する新名神高速道路

#### 四日市JCT～亀山西JCT間の早期6車線化と財源の確保を




令和４年３月、７月 一部区間
**片側３車線完成!**

**新名神沿線の土地活用が活発に！**

荒野インター周辺地区土地区画整理事業




鈴鹿PAスマートIC周辺土地区画整理事業




### 産業活動を支援し、防災機能を強化する東名阪大山田PAスマートIC（仮称）

#### 国による準備段階調査の早期着手を！

地方自治体での検討(現在) → 国による準備段階調査 → 高速道路会社への事業許可 新規事業化 → 国による整備補助 → 開通




**〇現在の状況**
- 桑名市において計画検討・調整段階
- 国として必要性の確認に向けた勉強会を実施中

**〇スマートICの整備効果**
- 工業団地から高速道路へのアクセス向上が図られ、物流の効率化や更なる企業誘致を期待
- 浸水区域を迂回する高速道路へのアクセス確保により、防災機能が強化

※SIC を含む土地区画整理事業（組合施行）を予定

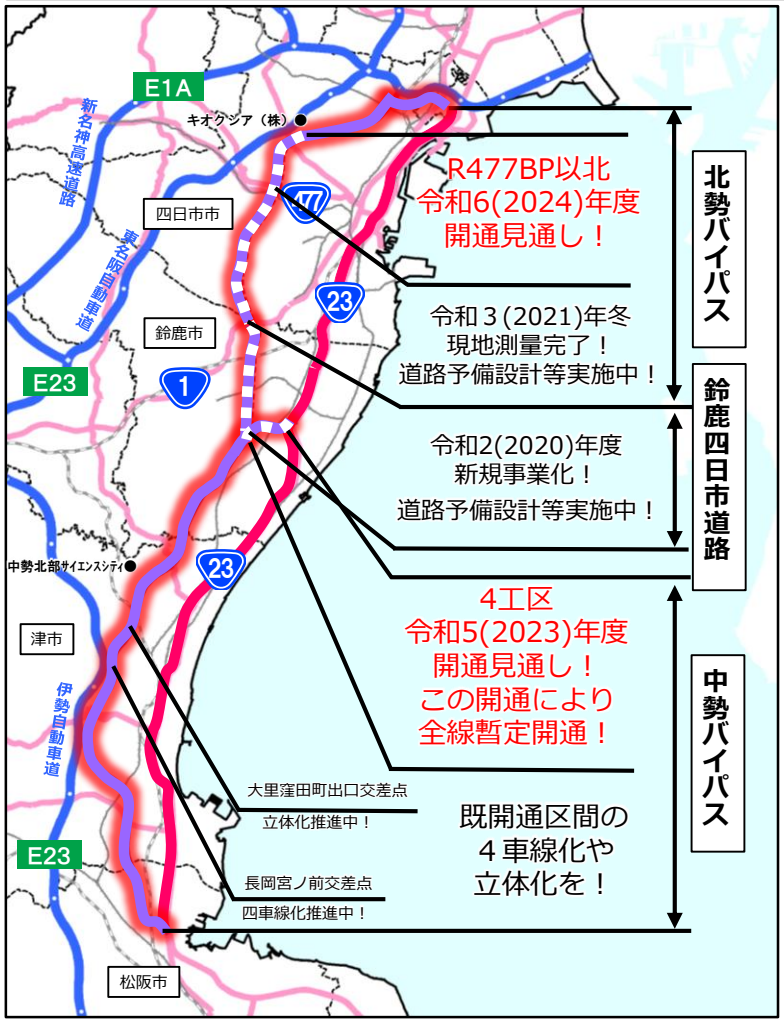
## 2　安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進

### 国道23号鈴鹿四日市道路の整備推進、国道１号北勢バイパスおよび国道23号中勢バイパスの全線開通に向けた整備推進

三重県

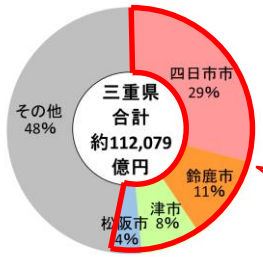
| 要望内容 | |
|---|---|
| | 1　**国道23号鈴鹿四日市道路**の**整備を推進**すること。<br>2　**国道１号北勢バイパス**、**国道23号中勢バイパス**の全線開通に向け**整備を推進**すること。 |

**南北主要幹線道路のダブルネットワーク化が地域課題の解決につながる北勢バイパス、鈴鹿四日市道路、中勢バイパス**




### 社会経済活動の基盤となる道路

■三重県製造品出荷額市町別内訳




国道23号沿線に産業が集積

国道23号沿線４市で5割以上！

出典：工業統計調査（R１）

■国道23号の渋滞状況（四日市市内）



北中勢地域で慢性的な渋滞が多発！

### ダブルネットワーク化によるルートの確保

【三重県立総合医療センター】
・県内唯一の基幹災害拠点病院
・ヘリポート、災害用備蓄倉庫、自家発電装置が整備

■南海トラフ地震が発生した場合

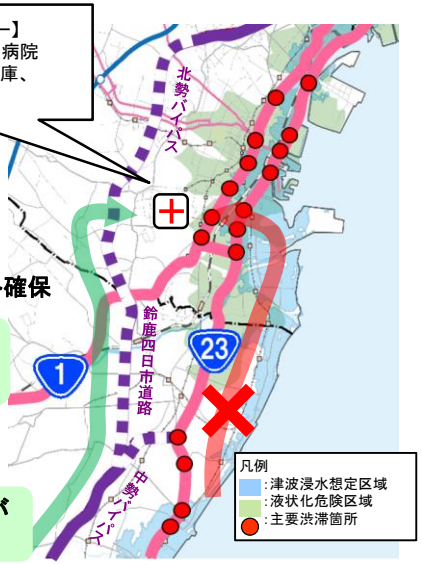
国道23号の機能が停止する恐れ

安全な山側ルート確保

重症患者の確実な搬送が可能！

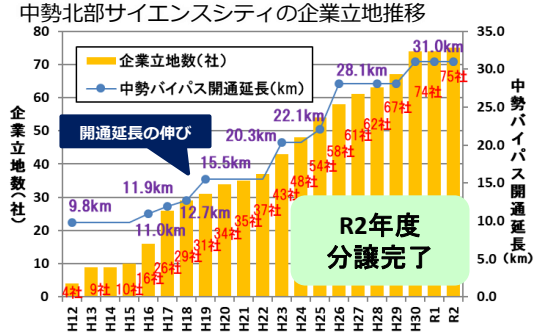
■平常時の主要渋滞箇所回避

企業の生産性向上が期待！




### 中勢BP延伸に伴い、企業立地が進展

中勢北部サイエンスシティの企業立地推移




### 北勢BP開通を見越し、企業立地が活発に

世界最大規模のフラッシュメモリ製造工場




北勢BP沿線のキオクシア㈱四日市工場の従業員数は、約10年で2倍に！

※3,383人(H19)が、6,700人(H30)に増加！

【要望先：財務省、国土交通省】（所管部局：県土整備部）

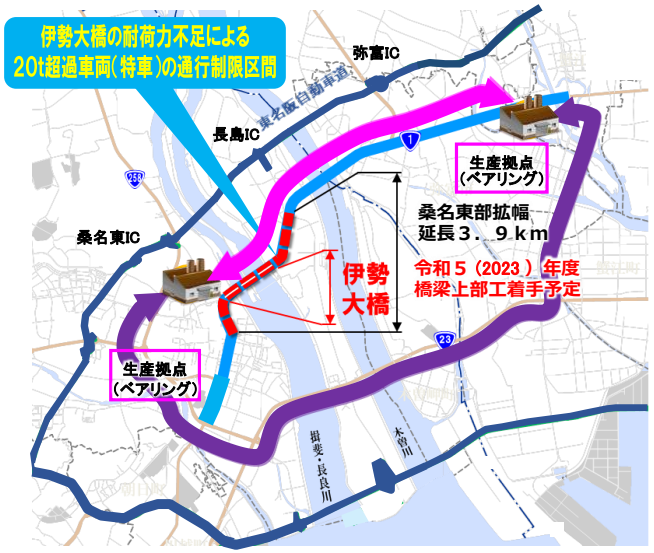
## 2　安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進
## 国道１号桑名東部拡幅（伊勢大橋架替）および国道42号松阪多気バイパスの整備推進

三重県

| | |
|---|---|
| 要望内容 | 1　**国道１号桑名東部拡幅**の老朽化著しい伊勢大橋の架替について、着実に**整備を推進**すること。<br>2　**国道42号松阪多気バイパス**の朝田町南交差点立体化について、着実に**整備を推進**すること。 |

### 物流の効率化･産業振興に大きく寄与する　国道1号桑名東部拡幅(伊勢大橋架替)

#### 重量制限解除で大幅な物流効率化を実現




#### 着実に整備が進む橋梁工事



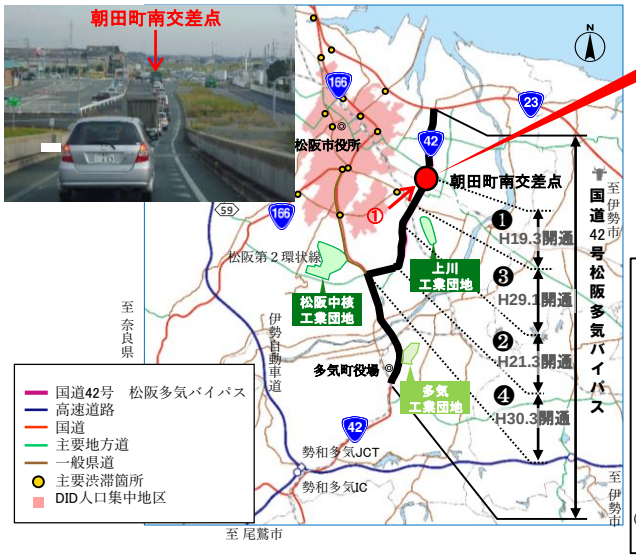
・令和５年度の上部工着手に向け、

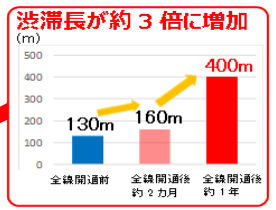
１４基の下部工が完成済。
３基の下部工を施工中。

着実な整備推進を！

### 朝田町南交差点の立体化で企業の生産性向上に寄与する　国道42号松阪多気バイパス

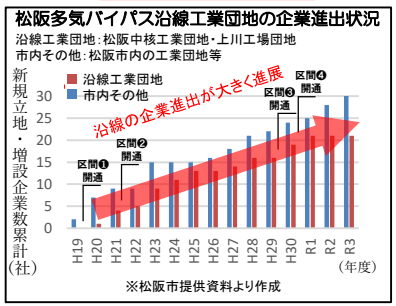
#### 既開通区間の渋滞を解消




立体化整備推進により

生産性向上に寄与




※松阪市提供資料より作成




・上部工着手に向け、

１２基の下部工が完成済。
７基が今年度完成予定。
１基を今年度契約済。

残り２基の早期発注を！

## 2　安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進

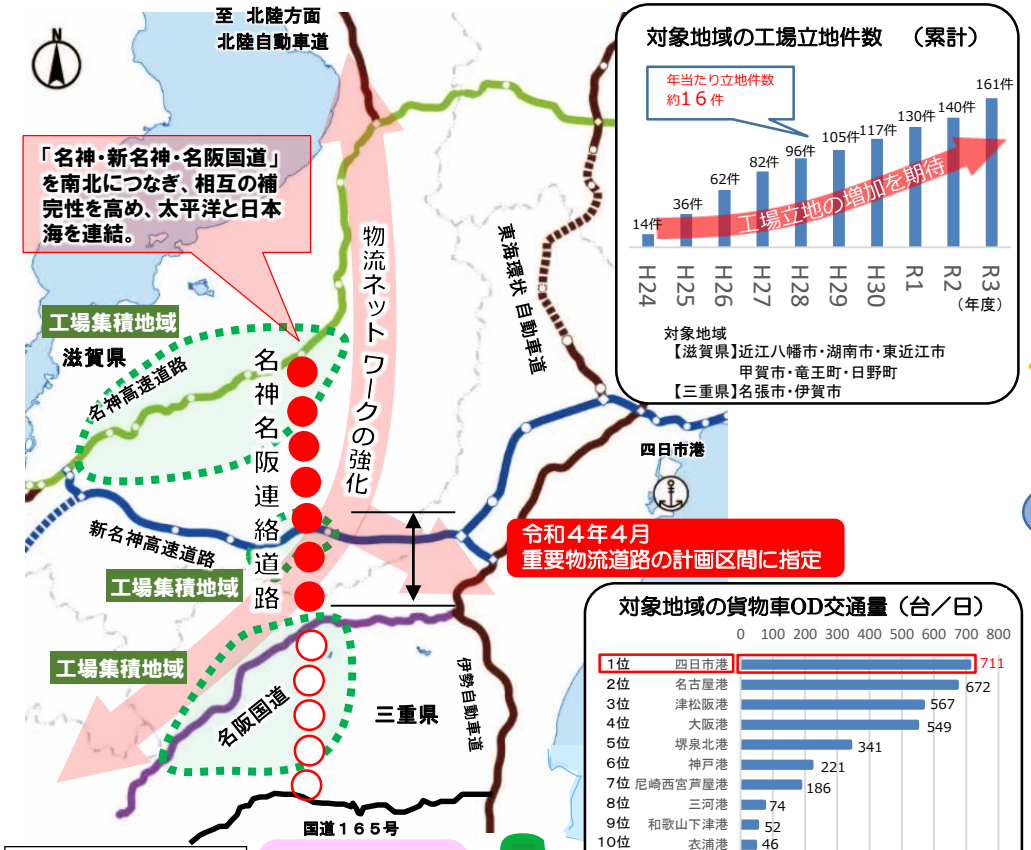
# 名神名阪連絡道路の計画の具体化

三重県

| 要望内容 | **名神名阪連絡道路**について、**連携して計画の具体化**を図ること。 |
|---|---|

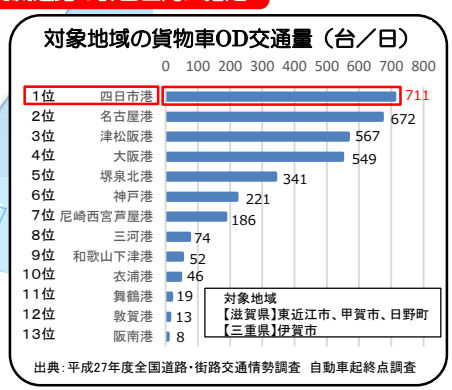
**南北の広域ネットワーク構築により産業発展を支援する　名神名阪連絡道路**

### 三重・滋賀の工場集積地の物流ネットワークの構築

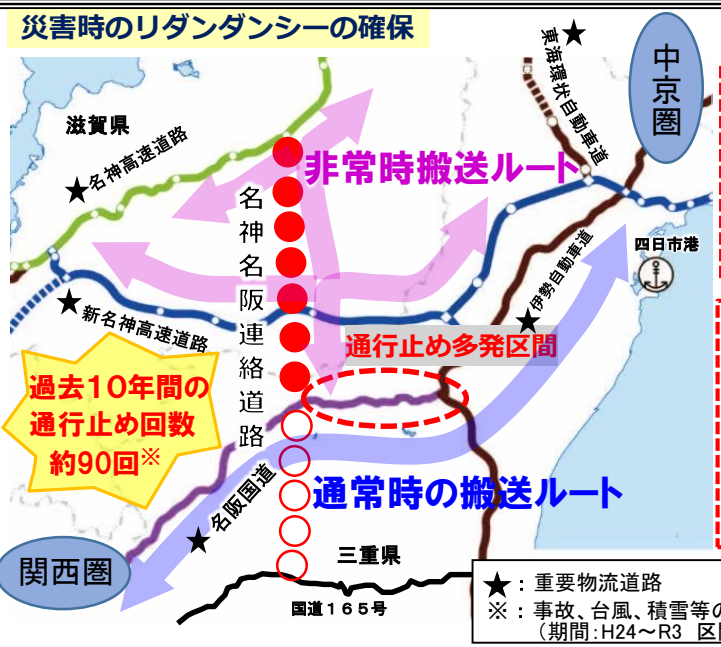









### 災害時のリダンダンシーの確保










### 建設促進大会（R4.1.13）が 盛大に開催






**坂本 克己 氏**
（全日本トラック協会会長）

- 道路は唯一無二の国民の財産であり、物流の重要さをふまえた道路を造っていく必要がある。



**住宅機器製造業社の声**

- 迂回可能な高速道路ネットワークを形成する名神名阪連絡道路の整備に期待！

## 2　安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進

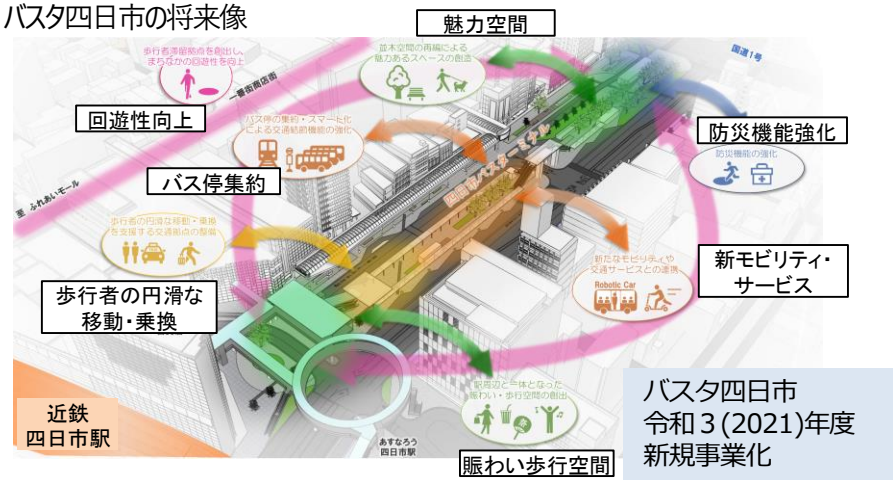
# 各都市の駅を中心とする空間整備への支援

三重県

| | |
|---|---|
| 要望内容 | コロナ禍をふまえた地方創生の実現に向け、各都市の**駅を中心とする空間整備について支援**を行うこと。 |

### バスタ四日市の早期整備

バスタ四日市の将来像




バスタ四日市
令和３(2021)年度
新規事業化







2027年リニア東京・名古屋間の開業を見据えてバスタ四日市の早期整備を！

### 津駅周辺道路空間再編への支援




令和4年3月　国・県・市は「津駅周辺道路空間の整備方針」を策定
津駅周辺道路空間再編への技術的・財政的支援を！

【要望先：財務省、国土交通省】（所管部局：県土整備部）

# 三重県内の主要事業図（水・国局）



- 冷川 通常砂防
- 小滝川 個別補助、西之貝戸川、材木川 通常砂防、藤原岳における土石流対策
- 二級河川 員弁川 河川改修
- 二級河川 朝明川 河川改修
- 北部浄化センター 長寿命化対策
- 二級河川 三滝川（三滝新川） 河川改修
- 一級河川 芥川 河川改修
- 一級河川 椋川 河川改修
- 一級河川 鈴鹿川 治水対策
- 南部浄化センター 第２期建設事業
- 南若松地区海岸 高潮対策
- 二級河川 堀切川 河川改修・排水機場延命化対策
- 二級河川田中川 防潮水門延命化対策
- 二級河川 釜屋川 排水機場延命化対策
- 二級河川 横川 防潮水門延命化対策
- 一級河川 木津川 治水対策
- 二級河川 志登茂川 河川改修
- 一級河川 木津川 井堰改修
- 川上ダム（水資源機構）（R4年度完了予定）
- 木津川水系直轄砂防事業
- 一級河川 名張川 治水対策
- 一級河川 雲出川 治水対策
- 二級河川 三渡川 河川改修
- 中勢沿岸流域下水道 処理施設増設
- 上野・白塚地区海岸 高潮対策
- 二級河川 安濃川 河川改修
- 二級河川 相川 橋梁架替、河川改修
- 雲出川左岸浄化センター 長寿命化対策
- 二級河川 百々川 橋梁架替、排水機場延命化対策
- 二級河川 笹笛川 防潮水門耐震対策
- 松阪浄化センター 長寿命化対策
- 二級河川大堀川 水門延命化対策
- 二級河川勢々川 水門延命化対策
- 一級河川 櫛田川 治水対策
- 宮川流域下水道 宮川処理区幹線管渠延伸
- 二級河川江川 排水機場延命化対策
- 一級河川 宮川・勢田川 治水対策
- 一級河川 汁谷川 河川改修
- 一級河川 桧尻川 河川改修
- 長谷 通常砂防
- 木馬瀬 ♥ 通常砂防
- 笠上川 通常砂防
- こも谷川 通常砂防
- 川上２地区 急傾斜地崩壊対策
- 奥出の谷（2） 個別補助
- 鳥羽河内ダム（R10年度完了予定）
- 二級河川 前川 河川改修
- 島谷川 通常砂防
- 宮川ダム 老朽化対策
- 平野 ♥ 通常砂防
- 大谷川 個別補助
- 一級河川 大内山川 河川改修
- 相賀浦地区海岸 高潮対策
- 南張地区海岸 高潮対策
- 猿谷 通常砂防
- 在ノ上北谷 ♥ 通常砂防
- 桑谷川 個別補助
- 坂場４地区 急傾斜地崩壊対策
- 名柄川支川1 ♥ 通常砂防
- 太田 通常砂防
- 仲坪地区 急傾斜地崩壊対策
- 雨東谷 ♥ 個別補助
- 林ノ谷西 ♥ 通常砂防
- 東地川 通常砂防
- 大谷川 通常砂防
- 二級河川井戸川 樋門延命化対策
- 二級河川 産田川 河川改修
- 阿田和地区海岸 高潮対策
- 二級河川 神内川 水門改築、河川改修
- 西ノ谷 個別補助
- 引作地区 急傾斜地崩壊対策
- 井田地区海岸 高潮対策
- かぶち谷 個別補助
- 一級河川 熊野川 耐震対策、治水対策
- 一級河川 熊野川 河川改修

【 凡 例 】

- 着色 直轄事業
- 河川事業
- ダム事業
- 下水道事業
- 砂防事業
- ♥ 要配慮者利用施設を保全する箇所
- 海岸事業（水国局）

N

1:200000

5 0 5 10

# 三重県内の主要事業図（港湾局）



県北部海抜ゼロメートル地帯

千代崎港海岸
侵食対策

津松阪港新堀地区
予防保全

津松阪港海岸
（栗真工区、栗真町屋工区、阿漕浦・御殿場工区）
高潮・耐震対策

津松阪港大口地区
予防保全

宇治山田港海岸
高潮・侵食対策

鳥羽港海岸
高潮対策

宇治山田港大湊・今一色地区
港湾改修

鳥羽港中之郷地区
港湾改修

的矢港海岸
高潮対策

長島港中ノ島地区
港湾改修

長島港海岸
高潮対策

N

1:200000

5 0 5 10 15km

【 凡 例 】

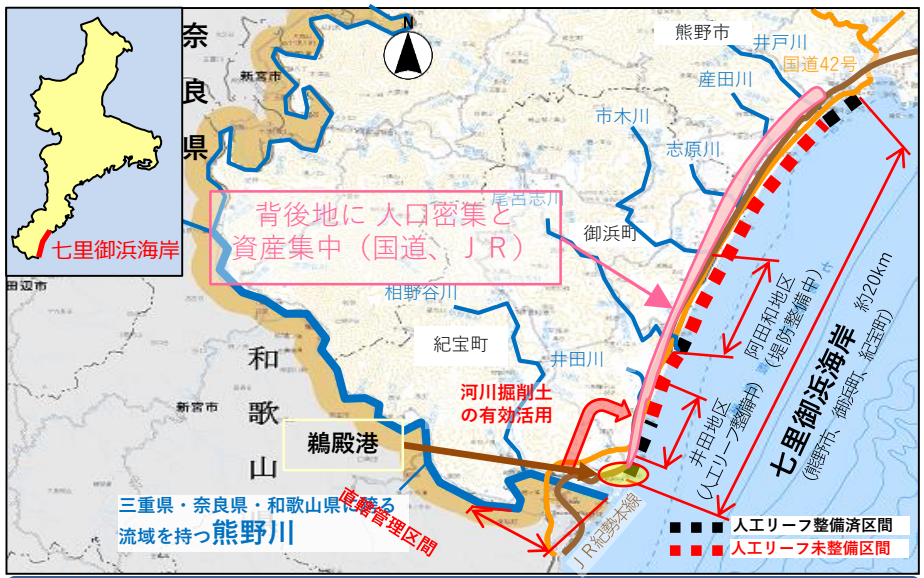
着色　直轄事業

港湾・海岸事業
（港湾局）

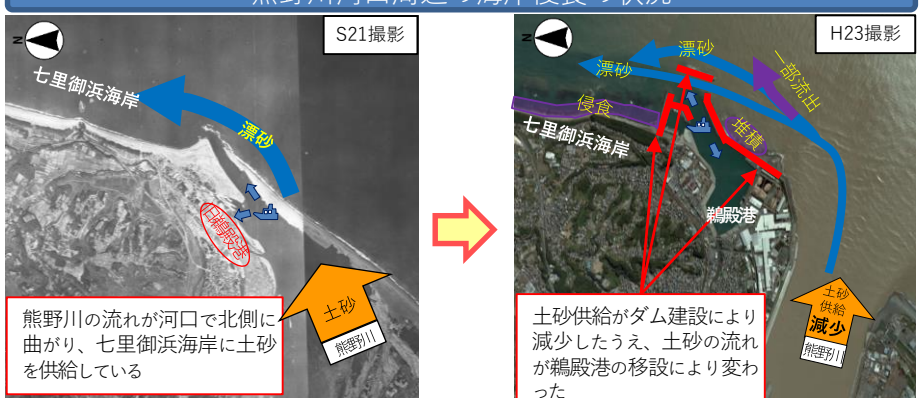
# 3　災害に強い県土づくりのための河川・海岸整備の推進
## 七里御浜海岸における侵食対策

三重県

| 要望内容 | |
|---|---|
| | 1　**七里御浜海岸**の長期にわたる安全・安心を早期に確保するため、整備を**直轄事業化**すること。<br>2　**海岸侵食**に係る鵜殿港も含めた効果的な対策を検討する勉強会等において**技術的な支援**を行うこと。 |




### 熊野川河口周辺の海岸侵食の状況




**勉強会にて効果的な対策を検討中**　（中部地方整備局、近畿地方整備局参画　Ｒ４年６月２４日、９月７日開催）

### 七里御浜海岸の課題

●**砂浜の減少により、越波が増大し、背後地の安全性が低下**

●**被災リスクが高い（平成以降に7度被災）**

| 被災年 | 被災原因 | 海岸名 | 被災内容 |
|---|---|---|---|
| 平成6年 | 台風第26号 | 井田地区海岸 | 堤防　600m |
| 平成9年 | 台風第7号<br>台風第9号 | 井田地区海岸 | 堤防　720m |
| 平成16年 | 台風第16号 | 井田地区海岸 | 堤防　300m |
| 平成23年 | 台風第12号 | 有馬地区海岸 | 堤防　52m |
| | | 阿田和地区海岸 | 堤防　28m |
| | | 井田地区海岸 | 堤防　257m |
| 平成25年 | 台風第18号 | 井田地区海岸 | 人工リーフ　1基 |
| 平成29年 | 台風第21号 | 井田地区海岸 | 堤防　40m |


井田地区海岸平成９(1997)年被災状況

●**膨大な事業費が必要**

| | 投資額 | 残事業費 |
|---|---|---|
| | 約413億円 | 約1,075億円 |
| 人工リーフ | 約286億円 | 約　829億円 |
| 堤防 | 約　86億円 | 約　33億円 |
| 養浜 | 約　41億円 | 約　213億円 |

1983年　これまでの整備（39年間）　2022年　10億円/年として100年以上　2128年

●**高度な技術力が必要**

○港湾施設の配置等検討
○国立公園、世界文化遺産等の景観への配慮
○太平洋の高波が来襲する施工条件
○熊野川流域の総合的な土砂管理と、砂利浜の安定解析

●**対策が複数の県に跨る**

○熊野川流域（三重県・奈良県・和歌山県）から発生する土砂の管理が必要
○熊野川の複数の管理者、関係機関との調整が必要

**直轄工事の要件を満たしている（海岸法第六条）**

海岸の長期にわたる安全・安心を早期に確保するため、**直轄事業化が必要**

【要望先：財務省、国土交通省】（所管部局：県土整備部）

## 3　災害に強い県土づくりのための河川・海岸整備の推進

# 熊野川の治水・濁水対策の推進

三重県

| | |
|---|---|
| 要望内容 | 1　**熊野川**の直轄河川改修事業について、新たに策定した河川整備計画に基づき**河道掘削等の推進**を図ること。<br>2　熊野川の総合的な治水対策協議会を継続し、**濁水問題について検証**を行うとともに、濁水およびその**長期化を抑制する取組を推進**すること。 |

## 熊野川の治水対策

### 現状

**地球温暖化に伴う気候変動の影響により水災害が頻発化・激甚化**

三重県では平成23年紀伊半島大水害時に熊野川で計画を大きく上回る２４,000㎥/sの洪水

令和元(2019)年の台風第10号では相野谷川（高岡地区）で計画高水位超過！

平成23年紀伊半島大水害




令和元(2019)年台風第10号




### 取組内容

- 令和３（2021)年１０月、気候変動の影響をふまえた**河川整備基本方針に全国で初めての見直し**
- 令和４（2022)年３月、河川整備計画を策定

外力の見直し
気温２℃上昇→降雨量変化倍率1.1倍

→

基本高水流量の変更
19,000㎥/ｓ→24,000㎥/ｓ

### 課題

- 計画高水流量に対して流下能力が不足しており、河道掘削による流下断面の増大が必要

- **河口部河道掘削の一層の推進が必要！**




## 熊野川の濁水対策

### 原因

**平成23年紀伊半島大水害**

上流域の紀伊山地で大規模な斜面崩壊
崩壊地数　　３，０７７箇所
崩壊土砂総量　約１億㎥

深層崩壊発生直後（五條市清水地区）



河道閉塞発生直後（五條市大塔町赤谷地区）



### 取組内容

**熊野川の総合的な治水対策協議会**

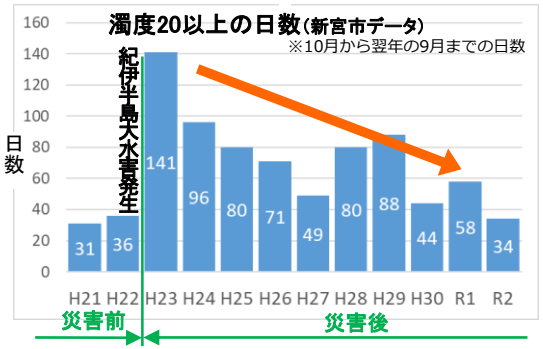
国・三重県・奈良県・和歌山県・沿川市町村・ダム管理者が連携して対策を実施中

①崩壊地対策と河道への土砂流出防止　（国交省、林野庁、三重県、奈良県、和歌山県）
②河道内堆積土砂撤去　（国交省、三重県、奈良県、和歌山県、電源開発㈱）
③ダムの取水設備改造、濁水フェンス設置、運用変更　（電源開発㈱）
※10年が経過するため、**令和4年度は中間とりまとめとして、これまでの成果を検証**

### 課題

- 紀伊半島大水害以降、河川への土砂流入が増加し、大雨後の濁水が長期化
- 目安の濁度20以上の日数は災害前まで減少したが、**引き続き注視が必要**
- **これまでの取組の効果検証および継続的なマネジメントの実施を！**



## 3　災害に強い県土づくりのための河川・海岸整備の推進

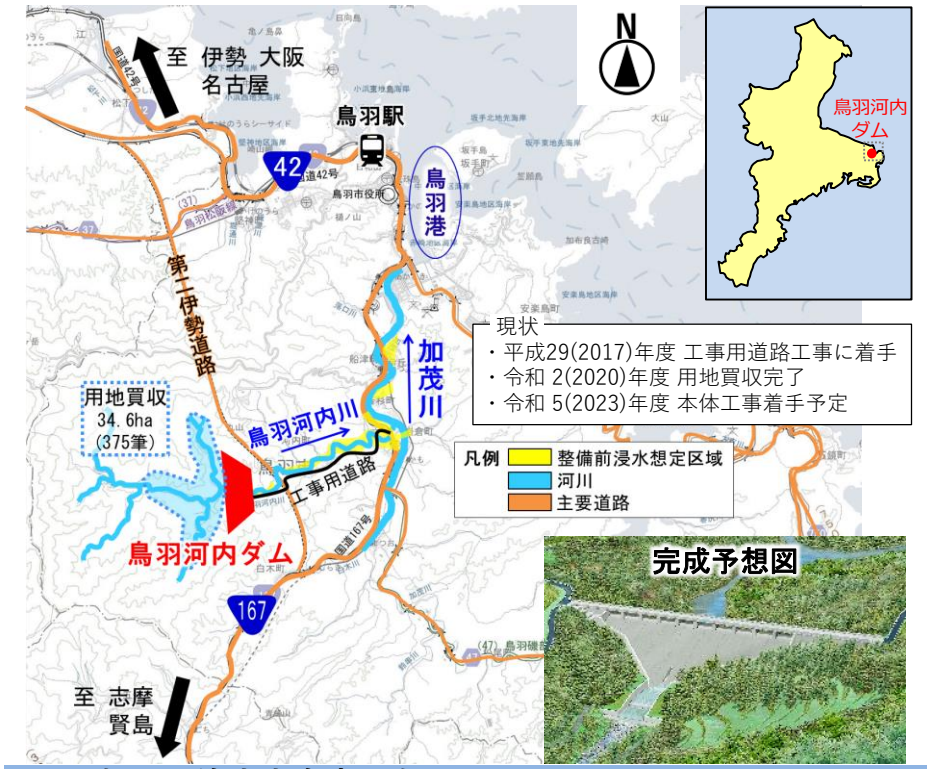
# 鳥羽河内（とばこうち）ダム建設の推進への支援

三重県

| 要望内容 | **鳥羽河内ダム（県管理）**の令和１０（2028）年度完成に向けて、**必要な予算を確保**すること。 |
|---|---|

## 鳥羽河内ダム建設事業

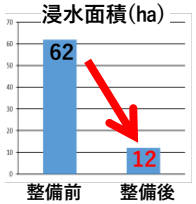
令和10(2028)年度の完成に向けて事業推進中（全体事業費195億円）







## ＜目標＞　治水安全度の向上







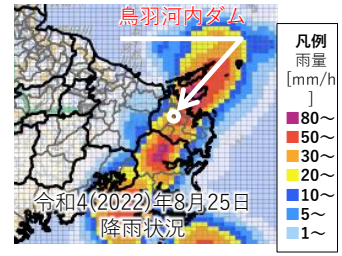
**鳥羽河内ダムの完成により**

**治水安全度が大きく向上！**

**地域の浸水被害を軽減！！**

## ＜背景＞　頻発化・激甚化する豪雨災害



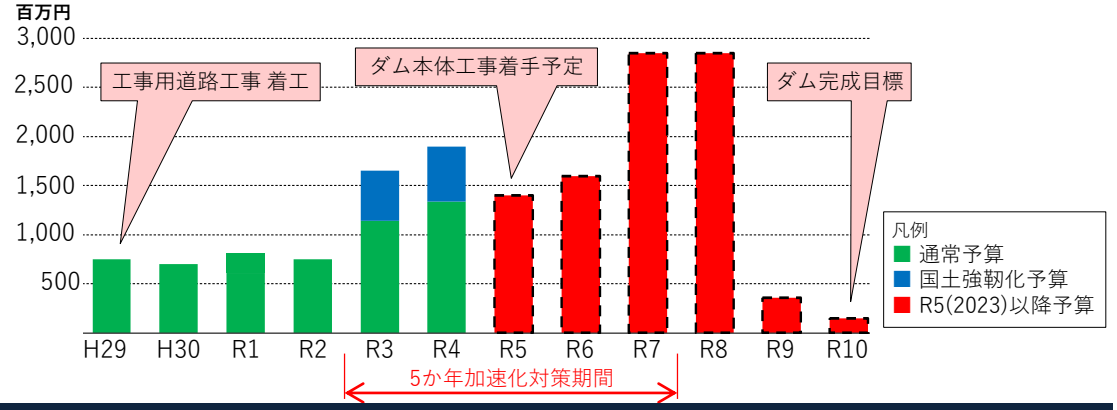

- 平成27(2015)年９月９日の台風第18号では床下浸水８戸、床上浸水１戸の被害。
- 令和４(2022)年８月25日 鳥羽市で124mm/hの記録的大雨発生。
  鳥羽河内川流域でも数年に１回、浸水被害が発生。

## ＜取組状況＞　防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策を推進

- ５か年加速化対策にダム建設事業が位置付けられ、国土強靭化予算が補正予算により措置されたことから、令和５（2023）年度の本体工事着手に向け着実に事業進捗が図られています。

## ＜課題＞　ポスト「5か年加速化対策」のための予算の確保

- 令和５(2023)年度以降、事業費92億円が必要。
  - **５か年加速化対策期間後にダム本体工事のピークを迎えるため、引き続き国土強靭化対策による予算確保が必要。**




【要望先：財務省、国土交通省】（所管部局：県土整備部）

3　災害に強い県土づくりのための河川・海岸整備の推進

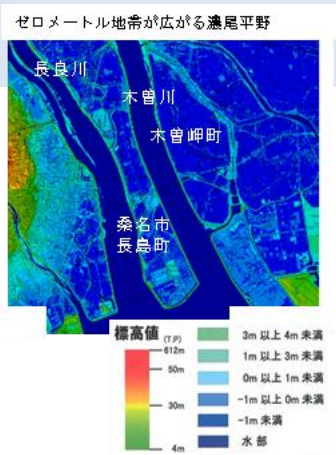
# 木曽三川・鈴鹿川・櫛田川・宮川・勢田川の直轄河川改修事業の推進

三重県

| 要望内容 | **木曽三川および鈴鹿川・櫛田川・宮川・勢田川**の直轄河川改修事業について、「防災・減災、国土強靱化のための５か年加速化対策」を重点的・集中的に講じ、事前防災**対策を加速化**すること。 |
|---|---|

## 木曽三川

（木曽川、長良川、揖斐川）



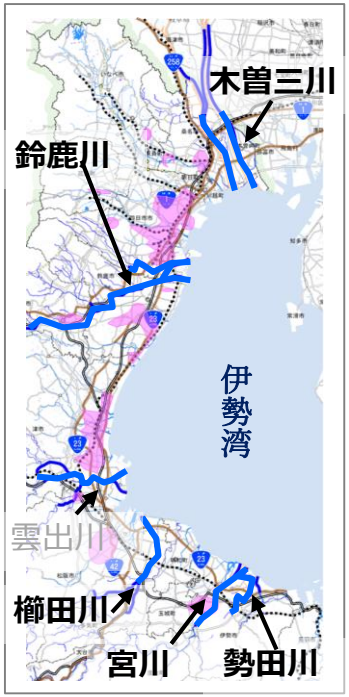

**【現状】**

- 国内最大の**海抜ゼロメートル**地帯
- 観光施設や**生産拠点が多数**立地
- 国土強靱化計画による耐震対策を実施中

**【課題等】**

- 南海トラフで今後40年以内にＭ８～９級地震が発生する確率を「90%程度」に引き上げ
- 堤防が沈下すれば、津波等による浸水は広範囲かつ長時間に及び**日本経済・社会への影響は甚大！**
- 切迫する南海トラフ地震に備え、**堤防耐震対策のさらなる推進が必要！**




## 勢田川

**【現状】**

- 平成29(2017)年台風第21号による被害は、甚大

死者１名
床上浸水409棟
床下浸水670棟




- 勢田川流域等浸水対策実行計画策定(H30.6.19)
- 桧尻川排水機場ポンプ増強工事に着手　(R4.6)




**【課題等】**

- 再度災害防止のため、浸水対策実行計画に基づく**治水対策(ポンプ増強等)のさらなる推進が必要！**

## 鈴鹿川・櫛田川・宮川

**【現状】**

- 鈴鹿川水系は、国内有数の石油ｺﾝﾋﾞﾅｰﾄ等を有する産業集積地
- 櫛田川水系は農業基盤集積地
- 櫛田川水系・宮川水系は斎宮跡・伊勢神宮等歴史遺産が数多く存在
- **人口** 約111万人**(県内の64%)、製造品出荷額** 約6.7兆円**(県内の62%)**

**【課題等】**

- 被害を軽減するため、**治水対策（河道掘削・堤防整備等）のさらなる推進が必要！**

## 3　災害に強い県土づくりのための河川・海岸整備の推進

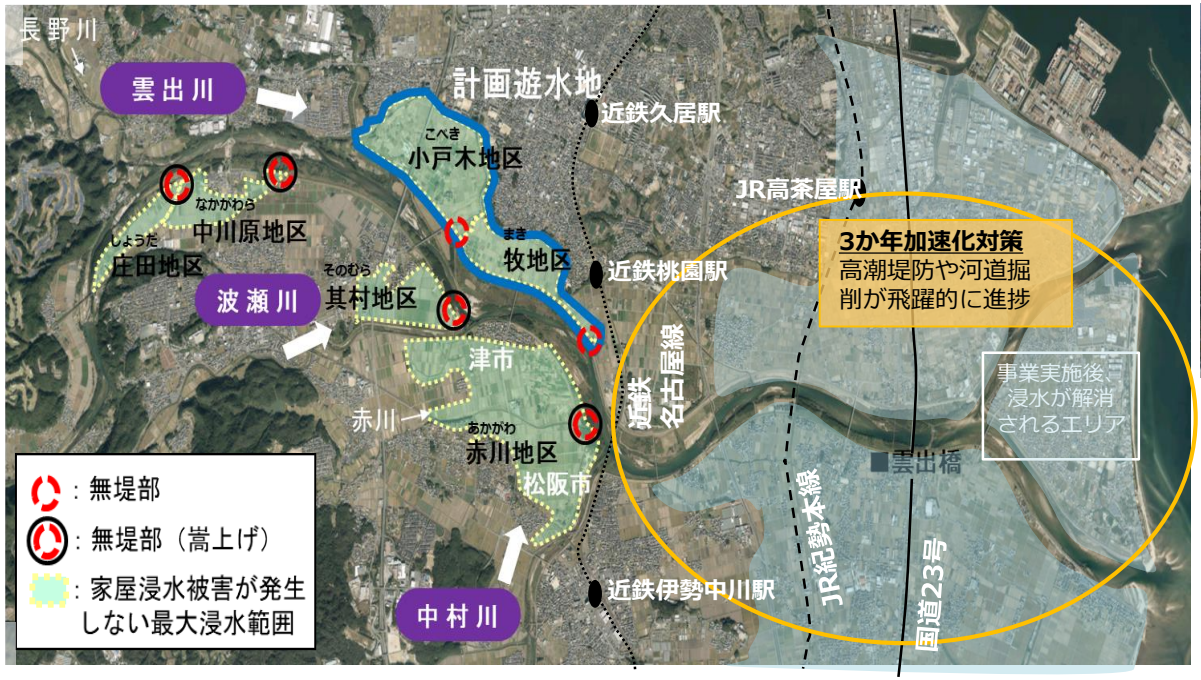
# 雲出川の直轄河川改修事業の推進

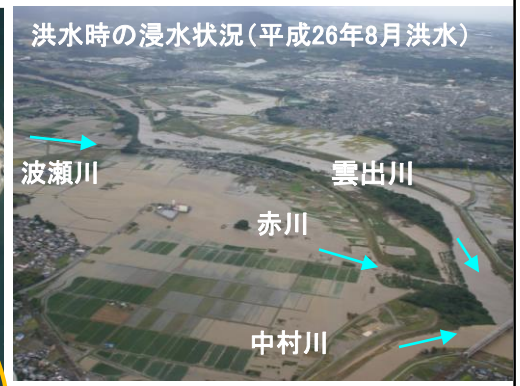
三重県

| | |
|---|---|
| 要望内容 | **雲出川**の直轄河川改修事業について、人家、商業施設、主要交通網が集積する下流部の浸水被害を軽減するため、**中流部において**計画遊水地等の**河川改修工事に早期着手**すること。 |

### 雲出川中流部の流域特性と早期整備について




**【流域特性】**
- **雲出川の中流部は無堤部が多く存在し、近年でも毎年のように浸水被害が発生**
- **特に平成26年は家屋浸水が発生**
- **一方、沿川に広がる農地は洪水調節機能を有している**

**【取組状況】**
- **雲出川下流部の整備が概ね完了**
- **令和2年度から中流部の調査・設計に着手**
  **特定都市河川の指定に向けた検討**

**【今後の整備】**
- **雲出川水系河川整備計画に位置付けられた、中流部の洪水調節施設（計画遊水地）や無堤部のかさ上げ等の整備**
- **流域治水整備事業の推進**

**【効果】**
- **家屋浸水被害の解消**
- **人家や主要交通網が密集する下流部の破堤リスクの低減**

# 3　災害に強い県土づくりのための河川・海岸整備の推進
## 川上ダムの効率的・効果的な運用および木津川・名張川直轄河川改修事業の推進

三重県

**要望内容**

1　**川上ダムの効率的・効果的な運用**を行うこと。
2　**名張川および木津川・服部川・柘植川**の直轄河川改修事業について、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を重点的・集中的に講じ、事前防災**対策を加速化**すること。

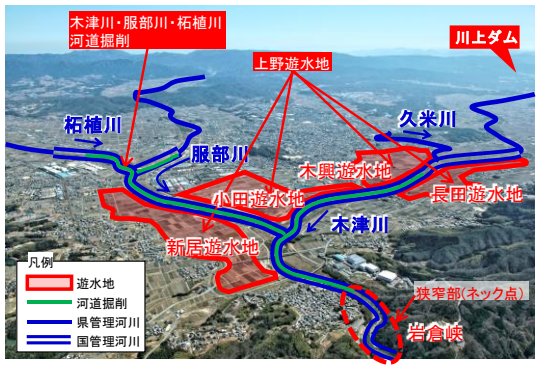
## 川上ダム・木津川直轄河川事業

### 【現状】

- **低い治水安全度**
- 数年に一度は浸水

| 最近の浸水 | 事象 | | 浸水面積 | 浸水戸数 |
|---|---|---|---|---|
| | H21．10 | 台風第18号 | 5.3ha | 32戸 |
| | H24．9 | 台風第17号 | 0.07ha | 38戸 |
| | H25．9 | 台風第18号 | 28ha | 150戸 |

- **3点セットで「治水安全度の向上」を実現！**

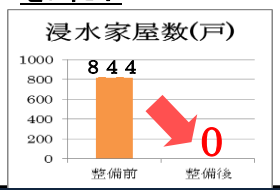


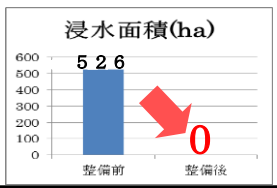

**上野遊水地**
平成27(2015)年度
運用開始

**川上ダム**
令和4(2022)年度
完成に向け
試験湛水中

**河道掘削(木津川・服部川・柘植川)**
平成28(2016)年度
から実施

- **最大規模の洪水(S28台風第13号)が発生しても被害がゼロに！**




### 【川上ダムの取組】

- 川上ダムは完成に向けて試験湛水中
- **令和5(2023)年３月完成予定**（管理に移行）



### 【川上ダムの課題】

- **洪水調節や木津川上流ダム群堆積土砂撤去時の代替等について川上ダムの効率的・効果的な運用を！**

### 【木津川等河川の取組】

- 河道掘削・引堤の推進

服部川河道掘削




服部川三田地区浸水対策（引堤）




### 【木津川等河川の課題】

- 令和3年8月に策定された淀川水系河川整備計画（変更）に基づき、気候変動の影響等をふまえたさらなる河川整備が必要！
- **さらなる治水安全度向上のため、木津川・服部川・柘植川の河道掘削および服部川（三田地区）における引堤の推進を！**

## 名張川直轄河川事業改修

### 【現状】

- 名張かわまちづくり一体型浸水対策事業（Ⅰ期）の推進




### 【効果】

- 令和元年東日本台風では、河道掘削・樹木伐採の実施により、約0.4mの水位低減効果を発揮し、溢水を回避！

●堤防整備（橋梁改築）



### 【課題】

- 上流ダム群（青蓮寺ダム・室生ダム・比奈知ダム）が本来有している洪水調節機能を発揮させるには、名張川の事業推進が必要！
  （淀川水系河川堤防整備状況約61%）
- **さらなる治水安全度向上のため、川を生かした地域づくりの核となる名張川の引堤・河道掘削の推進を！**

## 3　災害に強い県土づくりのための河川・海岸整備の推進

# 津松阪港海岸　直轄海岸保全施設整備事業の推進

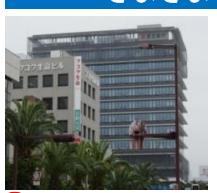
三重県

| | |
|---|---|
| 要望内容 | 令和５(2023)年度の事業完了に向け、**津松阪港直轄海岸の整備を着実に推進**すること。 |

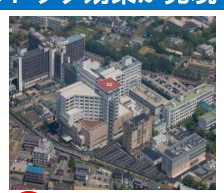



出典：国土地理院

**海岸堤防の耐震化により背後地の安全・安心が向上**
**さまざまなストック効果が発現しています。**



❶ 株式会社百五銀行
新本館ビルの建設(H27)
・津市避難ビルとして活用
・延べ床面積36千㎡/2棟



❷ 三重大学附属病院
新外来病棟を新設(H27)
・最新のCT装置などを導入
・延べ床面積28千㎡



❸ 倉敷紡績(株)三重工場
建物･設備の拡大(H24)
・生産･開発体制を強化
・延べ床面積約15千㎡

**着実に進む堤防整備**










【要望先：財務省、国土交通省】（所管部局：県土整備部）

## 4　魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進

# 三重県のCNP形成計画策定、港湾の利活用による地域活性化の支援

| | |
|---|---|
| 要望内容 | **港湾のCNP**の実現、港湾の利活用による**地域活性化に向け、財政的、技術的な支援**をすること。 |

**【現状・課題】**

**三重県管理の港湾を最大限に活用して、**
**得られる効果を県全体に波及させるため、**
**カーボンニュートラルポートの実現、**
**港湾による地域産業活性化、観光活性化が必要**

**【取組】**

三重県　港湾みらい共創本部

多様な関係者と協働し、港湾が関わる新たな課題への対応を目的に「三重県港湾みらい共創本部」を令和４年４月に設置

### （１） 港湾の脱炭素化

２０５０年の港湾の脱炭素化に向けてＣＮＰ形成計画策定が必要

**令和４年度**　4月　本部設置

**令和５年度**　津松阪港・尾鷲港 ＣＮＰ協議会設立(予定)

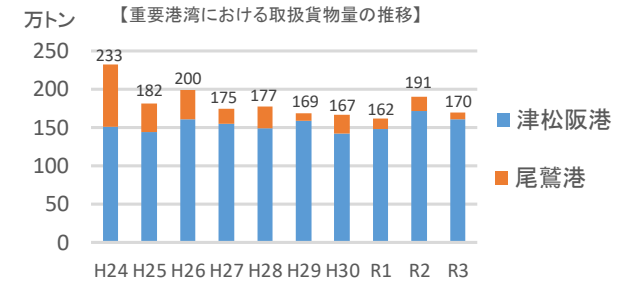
**令和６年度以降**　ＣＮＰ形成計画策定業務 → ＣＮＰ形成計画策定




重要港湾でのカーボンニュートラルポート（ＣＮＰ）形成に向けＣＮＰ形成計画の策定

### （２） 港湾による地域産業活性化

取扱貨物量の拡大に向けた環境整備が必要



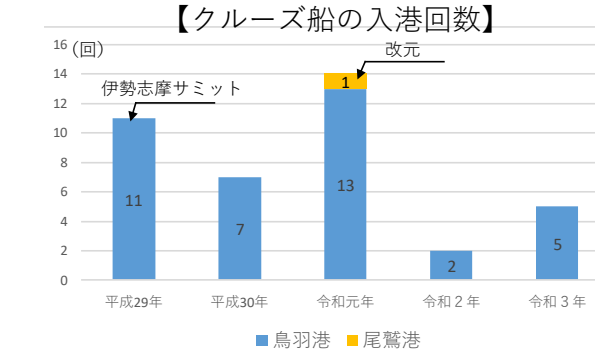




- 林業や水産業、工業など地域産業の活性化に資する港湾の取組の検討
- 洋上風力発電基地港湾の検討

### （３） 港湾を利用した観光活性化

クルーズ船の寄港拡大などの環境整備が必要







クルーズ、マリンレジャーなど観光振興に資する港湾の取組の検討

【要望先：財務省、国土交通省】（所管部局：県土整備部）

## 4　魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進

# 有料道路制度の積極的な活用や新たな財源の創設、個別補助制度の拡充

三重県

| | |
|---|---|
| 要望内容 | 1　地方が真に必要とする道路の整備・管理を長期安定的に推進するため、**有料道路制度の積極的な活用**や**新たな財源の創設**を行うこと。<br>2　大規模構造物（橋梁・トンネル等）の新設・改築について、**個別補助制度を拡充**すること。 |

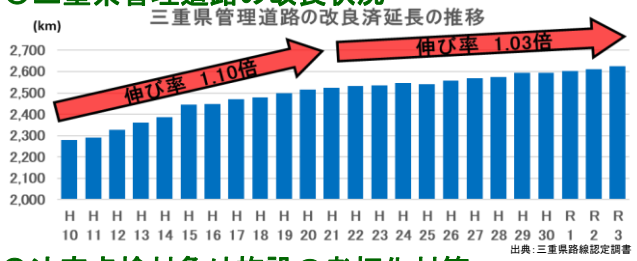
## 有料道路制度の積極的な活用や新たな財源の創設

### ○国の道路関係予算の推移（当初）




国の道路関係予算は、
**平成13(2001)年度をピークに減少！**
**平成22(2010)年度に大きく減少！**
平成26(2014)年度以降は微増しているが、以前の予算額までは**回復していない！**

### ○三重県管理道路の改良状況




改良済延長の伸び率は
平成20(2008)年度までは
1.10倍であったが、
平成21(2009)年度以降は
1.03倍と**鈍化**している！

### ○法定点検対象外施設の老朽化対策

**○排水施設老朽化対策**




全体18施設のうち6箇所で早期措置が必要

施設数　18施設

| 要対策箇所 | |
|---|---|
| 8箇所 | 10箇所 |

**○道路情報板老朽化対策**



全体111施設のうち35箇所で早期措置が必要

施設数　111箇所

| 要対策箇所 | |
|---|---|
| 38箇所 | 73箇所 |

・異常気象時などにおいて、適切に対応するためには、これら**法定点検対象外施設の機能確保**も必要。

適切な道路管理に向け、法定点検対象外施設の老朽化対策等を着実に実施するため、長期安定的な予算の確保が必要！

**新たな財源の創設を！**

**有料道路制度の活用により創出される予算による道路の整備・管理の推進を！**

## 個別補助制度の拡充

### ○大規模構造物の新設・改築




県道 鈴鹿環状線
（磯山バイパス）
伊勢鉄道アンダー（190m）
社会資本整備総合交付金
事業費 **約16億円**
工事期間 **約5年間**
**令和７年度開通予定**




国道368号（4車線化）
大内橋（188m）
社会資本整備総合交付金
事業費 **約8億円**
工事期間 **約3年間**
**令和７年度開通予定**




県道 四日市鈴鹿環状線
采女大橋（140m（3径間））
防災安全交付金
事業費 **約9億円**
工事期間 **約3年間**
**令和６年度開通予定**

**大規模構造物の新築・改築を計画的に実施するには交付金ではなく、一定期間、重点的に予算配分される個別補助事業が必要**

**計画的に整備を進めるため、個別補助制度の拡充を！**

## 4　魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進

# 県管理道路の整備推進への支援

三重県

**要望内容**

1　地域高規格道路の**国道167号磯部バイパス**の整備推進に必要な**予算を確保**すること。
2　東海環状自動車道へのアクセスを強化する**国道421号大安ＩＣアクセス道路**の整備推進に必要な**予算を確保**すること。
3　地方創生や地域の防災・減災、安全に資する道路整備に必要な**社会資本整備総合交付金事業**および**防災・安全交付金事業**に必要な**予算を確保**すること。

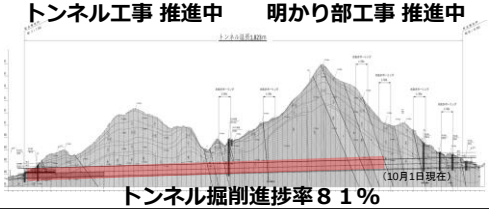
## ■国道167号磯部バイパス




**開通見通しを公表しました**　**令和６年度開通予定**


トンネル工事 推進中


明かり部工事 推進中



トンネル掘削進捗率８１％

## ■国道421号大安ICアクセス道路


三笠橋(大安IC方面)の渋滞状況




**開通見通しを公表しました**　**令和６年度開通予定**


４車線化区間 工事推進中

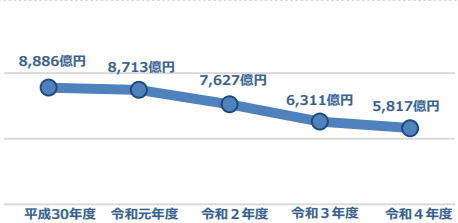

バイパス区間 工事推進中



事業区間全体で工事推進中

## 社会資本整備総合交付金

**自由度が高く、創意工夫を活かせる総合的な交付金**



社会資本整備総合交付金の予算推移(全国)

**県内54箇所の道路事業で活用**

## 防災・安全交付金

**老朽化対策、事前防災減災対策、生活空間の安全確保の取組を集中的に支援**

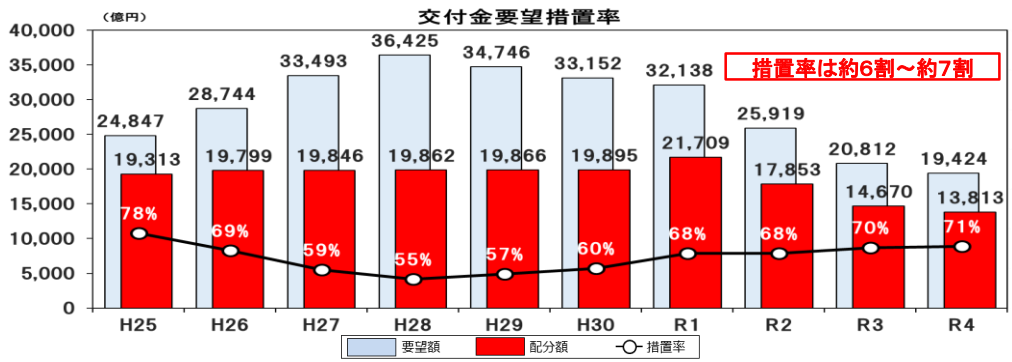


防災・安全交付金の予算推移(全国)

**県内83箇所の道路事業で活用**

### ～社会資本整備総合交付金および防災・安全交付金の現状～

道路ネットワークの形成による地方創生や地域の防災・減災、安全に資する道路整備が必要であるが、予算が十分でなく計画的な道路整備を図ることが困難な状況




⇒ 社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金の所要額確保が必要

【要望先：財務省、国土交通省】（所管部局：県土整備部）

4　魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進

# 道路整備に係る個別補助事業推進への支援

三重県

| 要望内容 | 地域の課題解決に向け「**道路メンテナンス事業補助**」「**踏切道改良計画事業補助**」「**土砂災害対策道路事業補助**」「**交通安全対策補助（地区内連携）**」の推進に必要な**予算を確保**すること。 |
|---|---|

## 道路メンテナンス事業補助

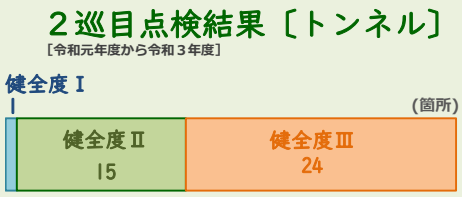
### ２巡目点検結果〔橋梁〕

［令和元年度から令和３年度］

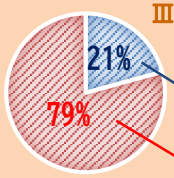



### ２巡目点検結果〔トンネル〕

［令和元年度から令和３年度］




**Ⅲ判定施設の措置状況**

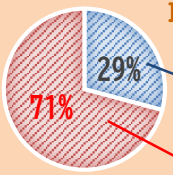



完了22橋

**未完了84橋**

（令和４年３月末時点）

**Ⅲ判定施設の措置状況**




完了7箇所

**未完了17箇所**

（令和４年３月末時点）

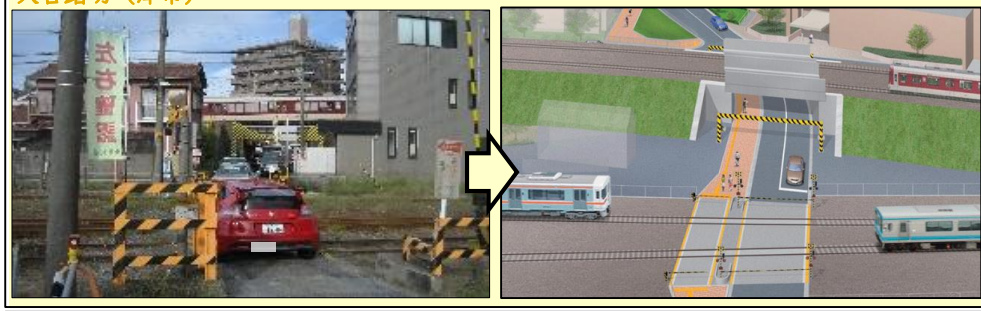
## 踏切道改良計画事業補助

三重県法指定踏切実施状況
（令和４年度11月1日時点）

踏切改良計画事業補助で事業中

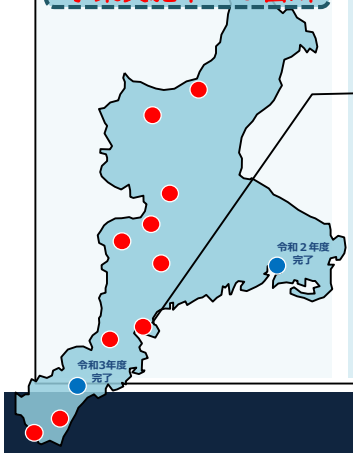



大谷踏切（津市）

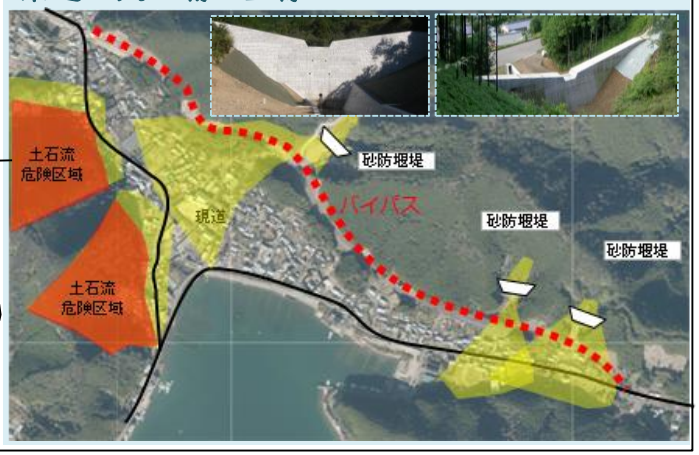


## 土砂災害対策道路事業補助

全体計画１２箇所
完了済２箇所
**事業実施中１０箇所**




県道　矢口浦上里線




## 交通安全対策補助（地区内連携）

**県内２地区で事業実施中**

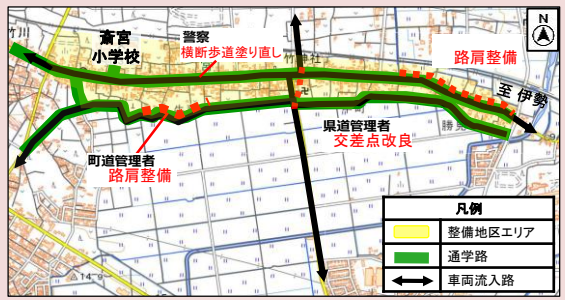
**鈴鹿市**

路肩整備・・・鈴鹿市施工
歩車道分離柵設置・三重県施工

**明和町**

路肩整備・・・明和町施工
路肩整備・・・三重県施工
交差点改良・・三重県施工
横断歩道塗り直し・県警施工

明和町












## 4　魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進

# 舗装の老朽化対策への支援

三重県

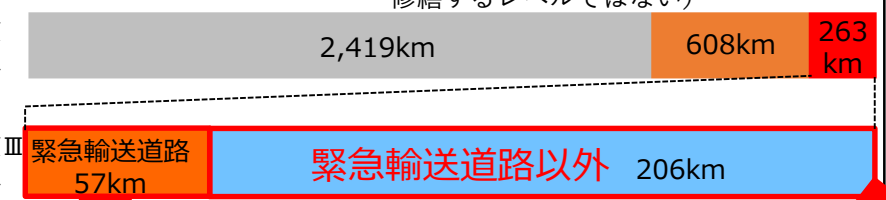
| 要望内容 | **老朽化が進む舗装の修繕**への**財政支援を拡充**すること。 |
|---|---|

- 緊急輸送道路以外の道路についても老朽化が進行
- 舗装の老朽化に伴う事故発生件数が増加
- 大規模災害発生時の救助・救援活動に資する緊急輸送道路等の防災上重要な道路において、国土強靱化５か年加速化対策を活用し舗装修繕を推進中

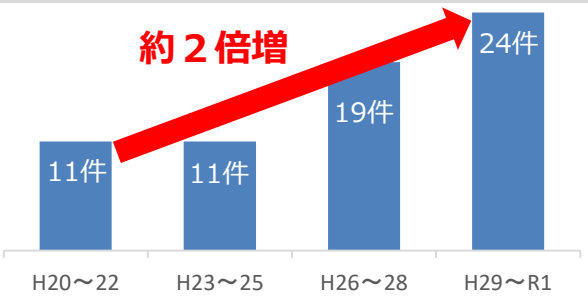
### 舗装の健全度内訳　（県管理道路　3,290㎞）

県管理道路 3,290km※
※：舗装済延長

健全度Ⅰ（健全）
健全度Ⅱ（健全ではないが修繕するレベルではない）
健全度Ⅲ（修繕段階）



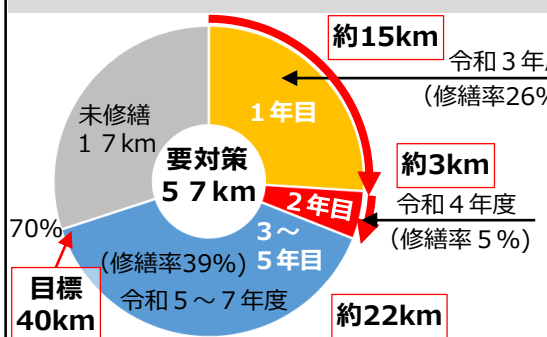

### 舗装の老朽化により事故発生件数が増加




道路の穴ぼこによる事故発生件数（県管理道路）




### 「緊急輸送道路」の舗装修繕計画




**５か年加速化対策の対象**

**５年で70%の修繕を予定**

※２年目の予算規模が今後３年間継続すると目標達成が不可となる
（２年目予算：4.3億円）

### 「緊急輸送道路以外の道路」の修繕

「緊急輸送道路以外の道路」における修繕が必要な路線長は、緊急輸送道路の約３倍もあることから、**緊急輸送道路以外にも財政支援が必要**

### 舗　装　修　繕　状　況





## 4　魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進

# 道路施設の老朽化対策推進への支援、路面標示の定常化

三重県

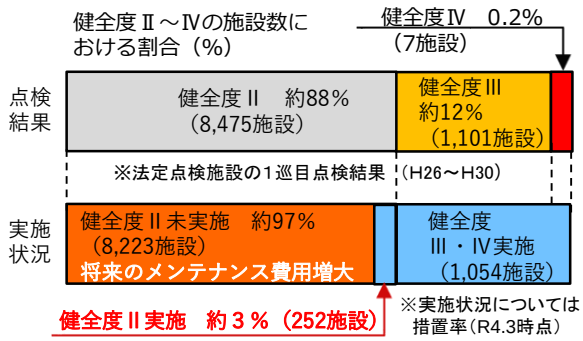
| | |
|---|---|
| 要望内容 | 1　**予防保全型道路インフラメンテナンス**を推進するため、必要な**予算の確保**を図ること。<br>2　区画線など**路面標示の塗替え**について、**国等と連携**して計画的に進めるために**支援**すること。 |

## 予防保全型道路インフラメンテナンスの推進

＜県の主な道路施設＞

| | |
|---|---|
| ・橋梁 | 4,210橋 |
| ・トンネル | 127本 |
| ・横断歩道橋 | 106橋 |
| ・シェッド | 22基 |
| ・大型カルバート | 44基 |
| ・門型標識 | 22基 |

＜県および県内市町の健全度Ⅱ～Ⅳの道路施設＞




**【予防保全】**
**健全度Ⅱ**

橋梁支承の腐食は軽度であり、除錆・塗装等の対応





**【事後保全】**
**健全度Ⅲ**

橋梁支承の腐食が著しく取り換え必要

小　修繕費用　大

より早い段階で修繕することにより、ライフサイクルコストが縮減

**事後保全から予防保全への転換が重要**

予防保全への本格的転換を早期に図れるよう、
**インフラ長寿命化対策に計画的・集中的支援を！**

## 健全な路面標示の定常化

- AI技術活用による劣化状況の把握
- 高耐久性塗料の使用による耐久性向上の取組
- 国・県警察・県による同時施工の取組

直轄国道事務所・県警・県で構成する路面標示連絡調整会議を設立し、路面標示の維持管理の連携強化を進めている

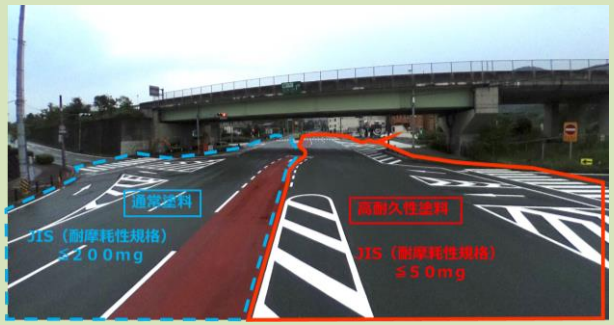
**【AIによる劣化状況の把握】**
三重大学・県警察・県による「路面標示劣化検知システム」を開発中



**令和4(2022)年3月11日**
**第3回路面標示連絡調整会議**

**【同時施工の取組】**
直轄管理国道と県管理道路が交差する交差点で、同時施工を調整・実施

**【耐久性向上の取組】**
直轄管理国道と県管理道路で通常塗料と高耐久性塗料を用いたモニタリング調査を実施中




健全な**路面標示の定常化に向けた支援を！**

【要望先：財務省、国土交通省】（所管部局：県土整備部）

## 4　魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進

# 通学路の交通安全対策推進への支援

三重県

| 要望内容 | **通学路の交通安全対策**を推進するために必要な**予算を確保**すること。 |
|---|---|

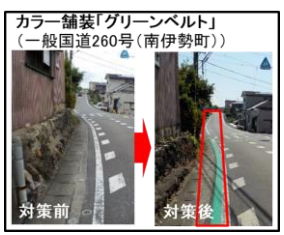
- 千葉県八街市の事故をふまえた通学路合同点検に基づく対策箇所について、「交通安全対策補助事業（地区内連携）」、「交通安全対策補助事業（通学路緊急対策）」や「防災・安全交付金」を活用し対策を推進中
- 全ての市町で通学路交通安全プログラムに基づき、PDCAサイクルで継続的に対策を推進中

### 千葉県八街市の事故をふまえた合同点検に基づく交通安全対策

| | R３年度 | R４年度 | R５年度 |
|---|---|---|---|
| 要対策箇所（県管理道路）228箇所 | 令和3年6月事故発生 → 合同点検実施 | 完成 69箇所（30%） | **完成 ＋146箇所（94%）** | 残り 13箇所（地元調整に時間を要する箇所）→ 速効対策 |

- 千葉県の事故を受け、通学路合同点検による対策が講じられるまでの間に、すぐできる対策を県単独事業費で速やかに実施（速効対策）

対策例



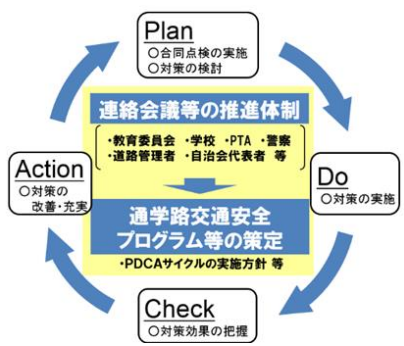




### 通学路交通安全プログラムに基づく交通安全対策

| | ～R２年度 | R３年度 | R４年度 | R５年度～ |
|---|---|---|---|---|
| 要対策箇所（県管理道路）309箇所※ | 完成 149箇所（48%） | 完成 +84箇所（75%） | **完成 +54箇所（93%）** | 残り 22箇所 |

※R3.3時点の箇所数




- 関係者と連携し、PDCAサイクルを継続的に実施
- 新たに抽出される対策箇所についても着実に対策を実施






**千葉県八街市の事故をふまえた合同点検や通学路交通安全プログラムに基づく対策箇所に、速効対策等も講じながらスピード感をもって進めています。**







【要望先：財務省、国土交通省】（所管部局：県土整備部）

## 4　魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進

# 交通マネジメント・メンテナンスのＤＸへの支援

三重県

| | |
|---|---|
| 要望内容 | ＡＩカメラをはじめとする地方自治体が進める**道路のＤＸの取組を加速できるよう**、国からの**技術的・財政的な支援を拡充**すること |

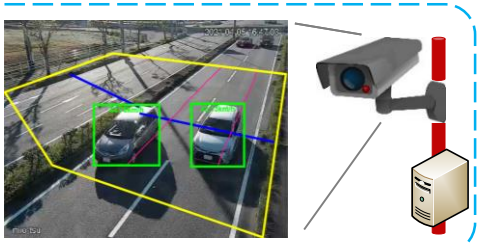
## 交通マネジメントのDXへの支援

感染症対策も含め平常時や災害時にＩＴを活用し、安全で円滑な通行を確保

R3(2021)年度～

**AIカメラによる**
**常時観測システムを運用開始**

交付金により県内主要道路１０箇所設置
都道府県で全国初！



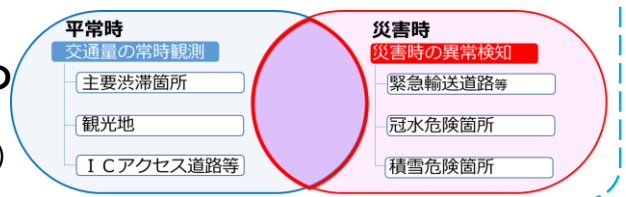
**R4(2022)年3月　道路DX中期計画ver.1（カメラ設置方針）の策定**

R4(2022)年度～

**道路DX中期計画**
**に基づくAIカメラの**
**観測体制の拡充**

100基設置(交付金活用)
※既設・民間カメラ含む

平常時・災害時の重なる箇所に優先的に拡充




**R４(2022)年度　道路DX中期計画ver.２（活用方針）の策定予定**

**災害危険箇所の監視強化**



リアルタイムで道路の状況を確認

**渋滞、事故等への活用**



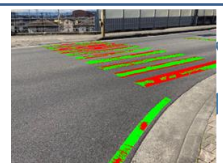
交通状況の常時モニタリング

## メンテナンスのDXへの支援

**① ＡＩ路面標示劣化検知システム**



車載カメラ
GPS撮影



AIによる
劣化判定



路面状況の
データベース化
（帳票・地図表示）

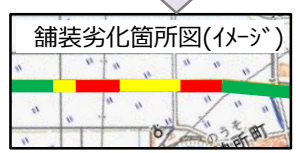
R4(2022)年度　システムの実証試験開始
R5(2023)年度　システムの本運用開始

連携

**② 路面振動検知システム**

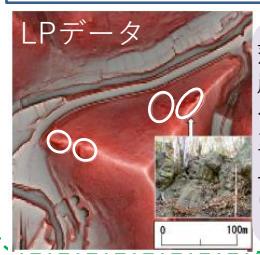
**スマートフォンアプリを利用した**
**路面振動検知システムの導入検討**

路面状況の自動判定、
データベース化




凡例：振動レベル
強い ⟷ 弱い

**③ LPデータを活用した潜在的危険箇所の把握**




落石発生源、崩壊、地すべり等、災害要因を比較的容易に抽出可能

・既存LPデータの収集
・地域特性の把握
・災害要因の判読

**危険箇所の把握**

## 4　魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進
# ナショナルサイクルルート・GXへの支援

三重県

| | |
|---|---|
| 要望内容 | 1　**ナショナルサイクルルートの環境整備**を推進するため、必要な**予算の支援と拡充**を図ること。<br>2　**トンネル照明のＬＥＤ化**を推進するため、必要な**予算の確保**を図ること。 |

## ナショナルサイクルルートの環境整備の推進

太平洋岸自転車道（Pacific Cycling Road）
●延長：1,487ｋｍ（うち　三重県内延長　300ｋｍ）
●起終点
　千葉県銚子市ＪＲ銚子駅　～　和歌山県和歌山市加太港
　　※三重県内起終点
　鳥羽市鳥羽港　～　南牟婁郡紀宝町新熊野大橋





公式ＳＮＳ（動画）でルートを紹介

**路肩拡幅**
**（交付金対象）**



**案内看板整備**
**（交付金対象）**



**サイクルステーション**

サイクルラック
**（補助対象）**

工具貸出し・空気入れ、情報提供等**（交付金対象外）**




サイクルステーション設置事例
（国HPより）

**舗装修繕**
**（交付金対象外）**
安全な走行が確保できる



**景観整備**
**（交付金対象外）**
樹木を伐採すれば海が眺望できる




**予算の支援を**

**矢羽根**
**（交付金対象）**

**交付金対象の要件拡大を**

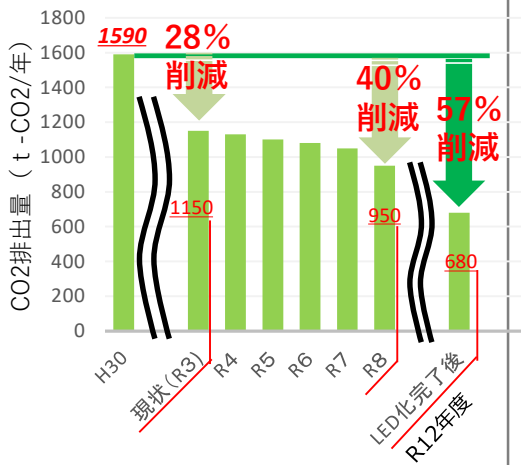
## トンネル照明のLED化の推進

・脱炭素社会の実現に向けて、道路交通の低炭素化、道路インフラの省エネ化・グリーン化が求められている。
・道路インフラの省エネ化を推進するため、特に照明の数が多いトンネル照明のLED化について目標を掲げ取り組んでいる。


ナトリウム灯照明


トンネル照明のＬＥＤ化

トンネル照明のＬＥＤ化による
$CO_2$排出量の削減目標




※：トンネル照明のLED化は
平成30（2018）年度から実施

・脱炭素社会の実現に向け、**トンネル照明のLED化を計画的に進める**必要がある。

## 4　魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進
# 流域治水の取組の推進への支援

三重県

| | |
|---|---|
| 要望内容 | 1　流域治水の取組推進のため、**特定都市河川浸水被害対策推進事業**の予算は、県に配分される**交付金等とは別枠で優先的に確保**すること。<br>2　**河川整備基本方針・河川整備計画策定に係る業務**を社会資本整備総合**交付金制度の対象**とすること。<br>3　利水ダムの事前放流にあたり新たに必要となる**情報共有システムの構築**に対する**財政支援**を行うこと。 |

## あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」の本格的実践

### 1. 特定都市河川浸水被害対策推進事業の予算を別枠で確保




**【現状】**

国の取組
- 特定都市河川の指定拡大による流域対策の推進
- 全国の一級水系・二級水系を対象に、特定都市河川の指定拡大をめざす

県の取組
- 指定に向けた準備

**【課題等】**
- 特定都市河川の指定には、県条例の制定等、事前準備が必要
- 指定後、区域の指定や計画の策定など多大な業務が発生
- 予算は県に配分される交付金等の内数から優先配分されるため、交付金等が減って既存事業の予算を圧迫
- 取組の推進には、**予算を県配分の交付金や従来の個別補助とは別枠で確保することが必要！**

### 2.基本方針・整備計画の策定・見直し

気候変動の影響が顕在化

○短時間強雨の発生頻度が直近30～40年間 で約1.4倍に拡大。

※　令和元年東日本台風では、103もの地点で24時間降水量が観測史上1位の値を更新




【短時間強雨（1時間降雨量50mm以上）の年間発生回数】
※　アメダス1,000地点あたり

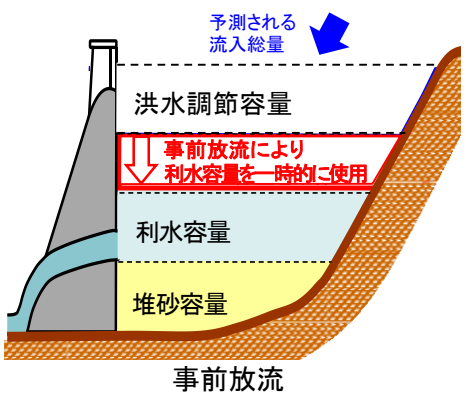
**【現状】**
- 計画策定・見直しに係る業務は交付金制度の対象外

**【課題等】**
- 気候変動の影響をふまえた治水計画の策定・見直しが必要
- **基本方針・整備計画の策定・見直しに係る業務を交付金制度の対象に！**

### 3.事前放流に伴う情報共有システムの構築

**【現状】**
- 新たに必要となる情報共有システム構築の費用は河川管理者・ダム管理者双方で応分の負担が必要

**【課題等】**
- 利水ダムのシステム構築には土地改良区など利水者の財政負担が必要
- **情報共有システム構築に対する財政支援が必要！**




【要望先：財務省、国土交通省】（所管部局：県土整備部）

4　魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進

# 緊急性の高い河川･海岸堤防や水門･樋門などの地震・津波対策の推進への支援

三重県

| | |
|---|---|
| 要望内容 | 南海トラフ地震による被災リスクの高い「ゼロメートル地帯」や「津波避難対策特別強化地域」などにおいて、緊急性の高い**河川･海岸堤防や水門･樋門などの地震・津波対策**を重点的に推進できるよう、安定的に**予算を確保**すること。 |

## 南海トラフ地震に備えた地震・津波対策

**三重県の沿岸は、「ゼロメートル地帯」や「津波避難対策特別強化地域」であり、被災リスクが非常に高い。**

**●南海トラフ地震の今後30年以内の発生確率は70～80%！**




・ゼロメートル地帯を含む県北部５市町に４８万人が居住
（三重県全体の約30%）

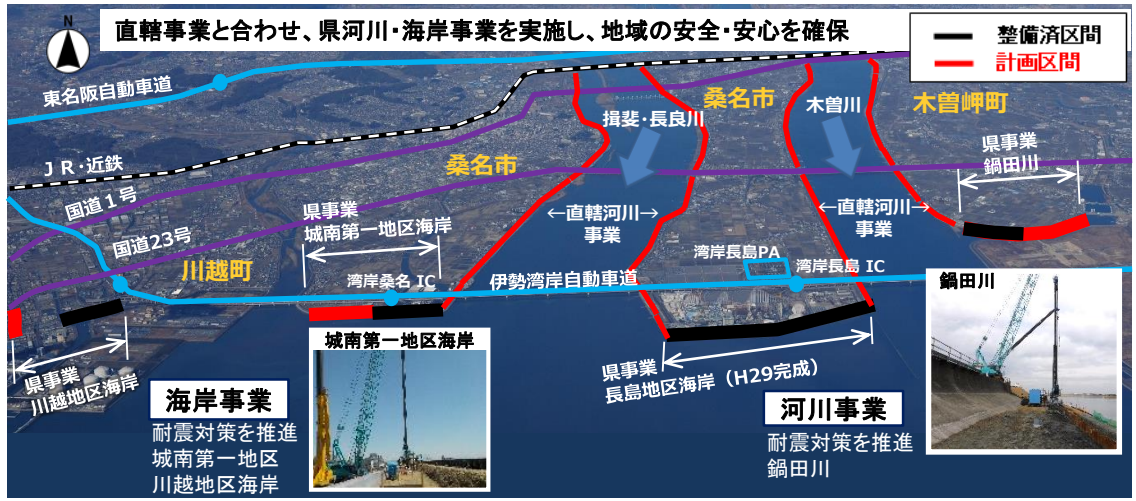
・津波対策特別強化地域の海岸線延長は約1,000kmにも及ぶ

## 地震･津波対策の予算確保が必要

**河川改修や高潮･侵食対策に加えて地震･津波対策を実施するには既存の交付金事業では不十分**

高潮浸水被害への関心の高まり
- 伊勢湾沿岸[三重県区間]の高潮浸水想定区域図を公表（令和２(2020)年８月）
- 想定の結果、11市町において約288km²が浸水
- 堤防背後住民らの関心の高まり

## 【河川･海岸事業】ゼロメートル地帯における堤防等の地震対策を実施




## 【海岸事業】短時間で津波が到達する沿岸での津波対策を実施



無堤区間を解消し津波被害を軽減







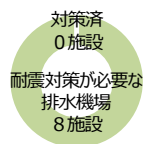
県南部では、津波が最短２分で到達することから、避難時間を少しでも確保できるよう、**津波対策の推進が必要！**

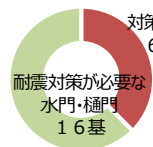
## 【河川事業】津波の遡上が想定される河口部にて耐震対策を実施


二級河川堀切川（堤防耐震対策）


二級河川笹笛川（水門耐震対策）




巨大地震に備えた**耐震対策の加速化が必要！**

【要望先：財務省、国土交通省】（所管部局：県土整備部）

# 4　魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進
# ダム設備の修繕・更新への支援

三重県

| 要望内容 | 長寿命化計画に基づく**ダム設備の修繕・更新**を**補助事業の対象**とすること。 |
|---|---|

**「防災・減災、国土強靭化のための５か年加速化対策」に位置付けられたダム設備の維持管理に対する財政支援の強化**

## ダムの機能を確保するための老朽化設備の修繕･更新

**長寿命化計画（H30～R29）に基づく設備更新を確実に推進**

### ダム長寿命化計画

- ダム管理用制御処理設備の更新
- テレメータ設備の更新
- 放流警報設備の更新
- 放流設備の修繕･更新
- 減勢工の修繕

低水放流設備の漏油状況

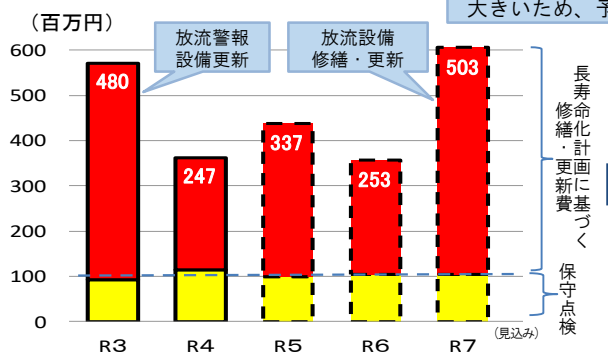


放流ゲートの発錆状況



**ダム設備修繕･更新当初予算事業費**

個別の設備修繕や更新費用が大きいため、予算の平準化が困難




**県単独事業で対応することは、重い財政負担**

## インフラメンテナンス事業の創設（令和4（2022）年度～）

**長寿命化計画に基づく老朽化対策について個別補助制度により支援**

**流域分野別の補助対象**

| 分　野 | 修　繕・更　新 | 改　良 |
|---|---|---|
| 河　川 | ○ | ○ |
| 海　岸 | ○ | ○ |
| 砂　防 | ○ | ○ |
| ダ　ム | × | ○ |

**ダム管理設備の修繕･更新は補助事業の対象外！**

※単純な修繕・更新でも従前のものから機能アップする場合は採択

**長寿命化計画に基づくダム管理設備の更新を確実に進めるためには、補助事業（ダムメンテナンス事業）の採択要件の拡大が必要！**

【要望先：財務省、国土交通省】（所管部局：県土整備部）

## 4　魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進

# 危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ等河川DXの推進

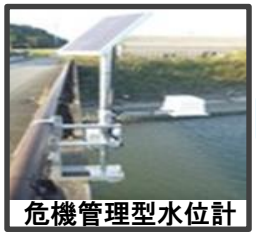
三重県

| | |
|---|---|
| 要望内容 | 1　**危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラの耐久性の向上を図り、更新に対して財政支援**を行うこと。<br>2　**河川台帳のデジタル化やシステムの導入**など河川ＤＸに対して**財政支援**を行うこと。 |

## 危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ

### 【国の取組】

■ 水管理・国土保全局の革新的河川技術プロジェクトにより、従来品よりコンパクトで安価な危機管理型水位計・河川監視カメラを開発


危機管理型水位計


降雨時の水位状況


簡易型河川監視カメラ


降雨時のカメラ画像

### 【現状】

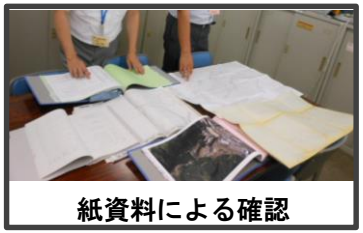
■ 三重県では、44基を設置（R4.9現在）
■ 多数の河川を有しているが、ハード整備には長期間を要する状況
■ 今後の気候変動もふまえ、住民への情報提供や管理者等の即時対応を強化する必要がある。
■ ＩＣＴを活用した河川観測体制強化として、令和4年3月に「河川ＤＸ中期計画2022～2026」を策定

**5年後の目標**
令和4(2022)年度～令和8(2026)年度
重点監視箇所（水位計＋カメラ）を
**44箇所　→　102箇所**

### 【課題等】

■ 設置から一定期間が経過したが、更新時期を迎えても支援する補助メニューが無い
（危機管理型水位計Ｈ３０～、簡易型河川監視カメラＲ１～）
■ 仕様で「無給電で5年以上稼働」を定めているが、それ以降の担保は無い
⇒ **危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラの耐久性の向上を図り、さらに更新を支援する制度が必要！**

## 河川台帳


紙資料による確認


ｼｽﾃﾑ化で効率UP

### 【現状】

■ 占用物件や河川区域などの問合せの際は、書庫からさまざまな資料を持ち出して確認しており時間を要する状況
■ 点検結果や工事完成図書などデータが報告書とともに書庫に保管され十分に有効活用できていない。
■ 行政手続きのデジタル化やオンライン化を進めていく中で、申請などのデジタルデータを利活用するシステムがない。

### 【課題等】

■ 台帳等のデジタル化やシステムの導入を支援する補助メニューが無い。
⇒ **ＤＸ を支援する予算制度が必要！**

4　魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進

# 木津川水系直轄砂防事業の推進

三重県

| 要望内容 | **木津川水系直轄砂防事業**について、「防災・減災、国土強靱化のための５か年加速化対策」を計画的に講じ、**事前防災・減災対策の加速化**を図ること。 |
|---|---|




木津川　木津川水系直轄砂防事業

砂防整備計画
平成28年～令和7年
**15基の整備を計画**
**うち三重県分**
**砂防堰堤工８基**
**流木補足工１基を整備**

○人口８万人の名張市街地
○大阪・奈良・三重を東西に結ぶ主要な交通基盤
国道165号【交通量約2万台/日】
近鉄大阪線【名張駅乗降人員　約1万2千人/日】
が土砂災害と氾濫から守られ、
住民、主要な交通基盤と利用者の安全が
確保されます。

**さらなる事業の推進と未整備箇所の新規着手！**




実施箇所図













土石流危険渓流が宇陀川沿いに連担しており、事業実施により要配慮者利用施設、公共施設、国道などが保全されます！

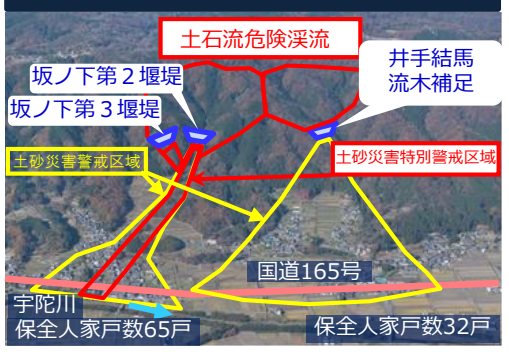
## 谷出第4,6堰堤工




## 事業実施概要

| 谷出4 | 谷出6 | 坂ノ下2 | 坂ノ下3 | 井手結馬 |
|---|---|---|---|---|
| 令和４年度 | | | | |
| 管理用道路工 | 管理用道路工 | 用地買収 | 用地買収 | 用地調査 |
| 令和5年度 | | | | |
| － | － | 用地買収 | 工事着手 | 用地調査 |

## 坂ノ下第2,3堰堤工、井手結馬流木補足工



## 4　魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進

# 砂防事業推進への支援

三重県

| | |
|---|---|
| 要望内容 | 早期に土砂災害防止施設の整備が必要な**要配慮者利用施設を保全**する事業や**過去に土砂災害が発生した箇所**における事業についても、防災・安全交付金における**重点配分対象事業**とすること。 |

### 要配慮者利用施設を保全する事業

県内の土砂災害警戒区域内の407箇所の要配慮者利用施設が未対策！

↓

要配慮者利用施設の早急な保全が求められている

↓

要配慮者利用施設を保全する土砂災害防止施設についても防災・安全交付金の予算を重点的に配分して整備する必要がある

**要配慮者利用施設の被災事例**



平成28年8月台風第10号により岩手県岩泉町高齢者グループホームで9名が亡くなる被害が発生！

### 過去に土砂災害が発生した箇所の事業

過去に土砂災害が発生した箇所

↓

・再度災害が発生する可能性が高い
・早期に完成する必要がある

↓

防災・安全交付金の予算を重点的に配分して整備する必要がある

**里地谷通常砂防事業**　（三重県　南牟婁郡紀宝町）

里地谷は、平成23年9月の台風第12号に伴う豪雨により、下流の人家等に甚大な被害を及ぼしたため、平成23年度から平成26年度まで補助事業で進め、平成27年度からは防災・安全交付金で砂防整備を進め令和３年度に完成




### 防災・安全交付金における重点配分対象事業

令和３年度
・要配慮者利用施設のうちソフト対策の高度化に取り組んでいる施設
・防災拠点を保全
・重要交通網を保全
・重要なライフライン施設を保全
・砂防設備等の緊急改築事業

↓

令和４年度
・要配慮者利用施設のうちソフト対策の高度化に取り組んでいる施設

・市町村役場・支所を保全
・重要交通網を保全
・重要なライフライン施設を保全

・これまで重点配分対象事業となっていた「要配慮者利用施設を保全する箇所」は、令和４年度から対象外となった。
・過去に土砂災害が発生した箇所は重点配分事業の対象外。

早期に土砂災害防止施設を完成させるために、「要配慮者利用施設を保全する箇所」と「過去に土砂災害が発生した箇所」については、予算の重点的な配分が必要

## 4　魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進

# 下水道の整備および老朽化対策推進への支援

三重県

| | |
|---|---|
| 要望内容 | 1　未普及地域の早期解消に向けた制度「**下水道整備推進重点化事業**」を**堅持**するとともに、促進のための**予算を確保**すること。<br>2　「**下水道ストックマネジメント支援制度**」に基づき、老朽化対策が着実に推進できるよう必要な**予算を安定的に確保**すること。 |

## 1　未普及解消へ向けた制度の堅持及び予算確保

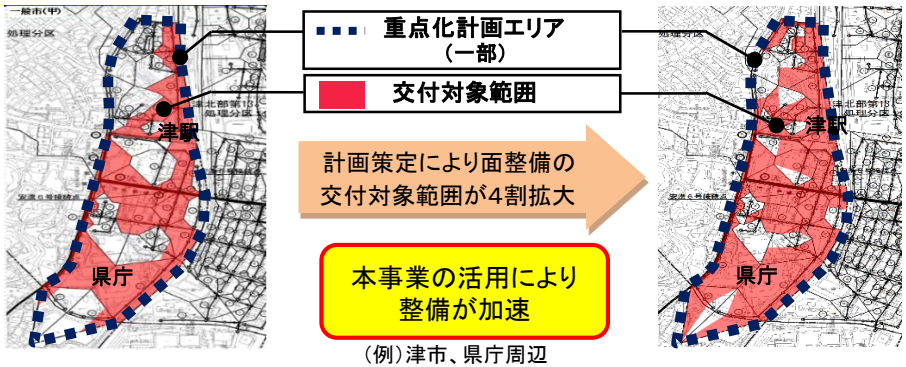
**現状**

**三重県の下水道普及率は、大幅に遅れている**

下水道処理人口普及率（令和3年度末）　全国平均80．6%　三重県58．9%

### 下水道整備推進重点化事業の堅持

津市、伊勢市、桑名市、鈴鹿市で下水道推進重点化計画を策定




（例）津市、県庁周辺

**下水道整備10年概成（令和8年度末）に向けて本事業の堅持が必要**

### 下水道未普及解消の促進

県内２３市町が下水道を供用しており、うち１１市町が重点的に公共下水道の管渠延伸及び面整備等、未普及解消に取り組んでいる。

令和７年度末 下水道処理人口普及率目標値　６７．０%

（三重県生活排水処理アクションプログラム中期目標）

**未普及解消促進のための予算確保が必要**

## 2　老朽化対策の予算確保

**現状**

**多くの処理場の設備が、老朽化により更新時期を迎えている**

設備更新率（令和3年度末）　7．7%

### 下水道ストックマネジメント支援制度に基づく老朽化対策の推進





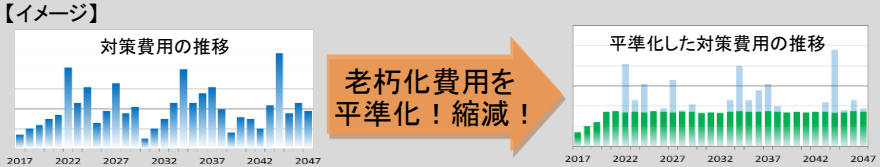


適切な老朽化対策が実施できないと処理施設の停止や機能低下が生じ、公共用水域の水質悪化を招く

老朽化対策には多くの費用が必要

対策費用の一時的な集中を避け、費用の平準化や縮減を図るため、下水道ストックマネジメント計画を策定

【イメージ】




令和2年度から下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化対策を実施

**支援制度に基づいた対策を進めるため、安定的な予算確保が必要**

4　魅力ある地域づくりの基礎となる社会基盤整備の推進

# 海岸保全施設・港湾施設の地震・津波・老朽化対策の推進への支援

三重県

| | |
|---|---|
| 要望内容 | 1　南海トラフ地震による被災リスクの高い「津波避難対策特別強化地域」において、緊急性の高い**海岸保全施設の地震・津波対策**を強力に推進できるよう、**予算を確保**すること。<br>2　**港湾施設の老朽化対策や地震対策**を強力に推進できるよう、**予算を確保**すること。 |

## 南海トラフ地震に備えた海岸堤防の整備

**●南海トラフ地震**
**今後３０年以内の発生確率は７０～８０％！**

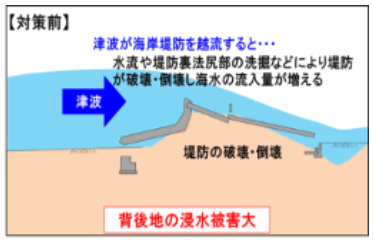
令和2(2020)年1月、国の地震調査委員会

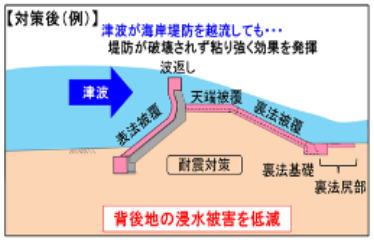
**＜三重県で想定される被害＞**
死者数 約４万人、経済被害額 約２１兆円。
県南部では、ほぼ全域で既設堤防を越える。

**＜海岸堤防強靭化対策が必要＞**
特に、県南部では非常に大きな津波が短時間で来襲する。
津波が堤防を越えた場合でも堤防を壊れにくくする対策を実施し、避難時間の確保を図る。

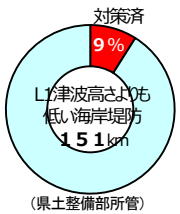



■ 津波避難対策特別強化地域
■ 津波が短時間(20分以内)に来襲する海岸
高潮・侵食対策実施海岸　5海岸
うち堤防強靭化対策実施海岸　4海岸



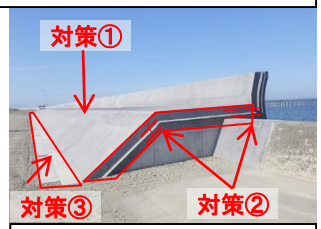




**海岸堤防強靭化対策の実施状況**




（県土整備部所管）
未対策の施設
対策済の施設

**海岸堤防強靭化対策の整備事例**




宇治山田港海岸二見地区(今一色工区)

対策① 天端・裏法ｺﾝｸﾘｰﾄの被覆厚を確保
対策② 差鉄筋を配置し、構造の一体化
対策③ 法尻ｺﾝｸﾘｰﾄによる洗掘防止

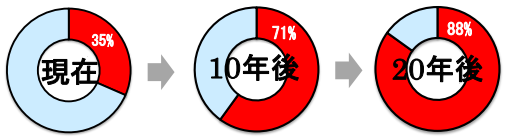
**「津波避難対策特別強化地域」において地震・津波対策が強力に推進できるよう、予算の確保が必要！**

## 地域の産業・経済を支える港湾施設の老朽化対策と地震対策

**予防保全に向けた老朽化対策**




**建設後50年以上経過する施設数**
（防波堤・岸壁・物揚場）

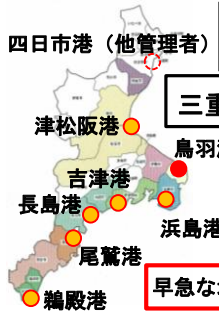



2022年 35%　2032年 71%　2042年 88%

建設後50年未満の施設
建設後50年以上の施設

**「事後保全」から「予防保全」に基づくメンテナンスへの転換を図るために老朽化対策が強力に推進できるよう、予算の確保が必要！**

**大規模地震時の緊急輸送を確保するための地震対策**




**三重県内の耐震強化岸壁**
鳥羽港のみ耐震強化性能不足
↓
早急な地震対策（耐震化）が必要

**鳥羽港中之郷地区**



**経済を支える海上交通ネットワークの維持や緊急物資輸送機能を確保するため、港湾施設の地震対策（耐震化）が強力に推進できるよう、予算の確保が必要！**

# 三重県内の主要事業図（都市局）



県営北勢中央公園
公園整備

（都）桑部播磨線街路整備事業
（H30年度着手）

国営木曽三川公園（桑名七里の渡し公園）
公園整備

県営鈴鹿青少年の森
公園整備

県営亀山サンシャインパーク
公園整備

（都）野町国府線街路整備事業
（H30年度着手）

県営大仏山公園
公園整備

（都）本町宮川堤線街路整備事業
（R4年度着手）

（都）外宮常磐線街路整備事業
（H30年度着手）

県営熊野灘臨海公園
公園整備

（都）尾鷲港新田線街路整備事業
（H29年度着手）

N

1:200000

【 凡 例 】

着色　直轄事業

街路

公園

## 4　魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進

# 国営木曽三川公園（桑名七里の渡し公園）の整備推進

三重県

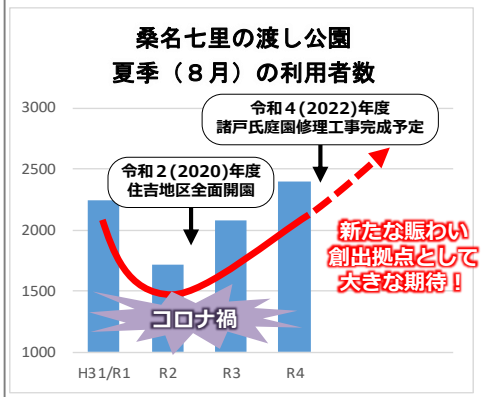
| 要望内容 | **国営木曽三川公園（桑名七里の渡し公園）の早期全面開園**をめざし、七里の渡し地区の早期工事着手を図ること。 |
|---|---|




### 桑名七里の渡し公園（七里の渡し地区）の早期工事着手を！




### ポストコロナに向けて地域活性化の拠点となる桑名七里の渡し公園




地域のにぎわいづくりの取組として
公園施設を活用した社会実験を実施



## 4　魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進

# ワーケーション推進など、交流人口の拡大に向けた取組への支援

三重県

| 要望内容 | 1　都市公園における**ワーケーション環境整備**に向けた**取組を支援**すること。<br>2　交流人口の拡大に資する**都市公園整備**の**予算を確保**すること。 |
|---|---|

### 【県営都市公園におけるワーケーション推進の取組】

**●熊野灘臨海公園の特色**

- 豊かな自然を生かした海水浴場、オートキャンプ場、コテージなどを有する公園
- 宿泊施設が充実しており、東紀州地域における滞在型観光の拠点として、重要な役割を担っている

滞在型観光に適した環境

海水浴場



オートキャンプ場




コテージ




**●ワーケーション環境整備の推進**

官民で連携し、Wi-Fi設備などテレワーク環境の整備を完了




公園内のコテージをワーケーション対応に改修




隣接する民間宿泊施設をリニューアル

さらに･･･

心身をリフレッシュできるアクティビティを充実




民間宿泊施設に隣接する海水浴場に新プールの整備を推進中

**ワーケーション環境整備に係る予算の確保が必要！**

### 【交流人口拡大に資する都市公園の整備】

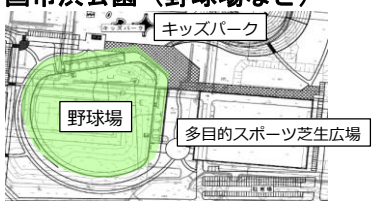
**●広域的な集客力強化に資する新たな拠点づくり**

熊野灘臨海公園（新プール）

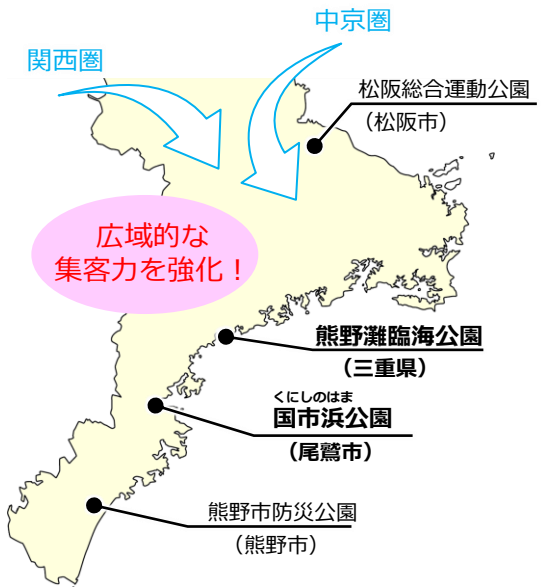



ワーケーション推進と官民連携の相乗効果により集客力を強化

くにしのはま
国市浜公園（野球場など）



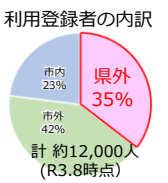

東紀州地域の各市町と連携しスポーツ交流の新拠点を整備




**●都市公園を活用した誘客促進の取組**

松阪総合運動公園スケートパーク






全国最大規模！
利用登録者の県外比率35%

熊野市防災公園熊野スカイパーク球場






ソフトボールの聖地として、全国規模の大会を誘致

**新たな拠点づくりに資する都市公園整備に係る予算の確保が必要！**

【要望先：財務省、国土交通省】（所管部局：県土整備部）

# 4　魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進
## 緊急輸送道路の無電柱化、通学路等の安全対策、都市公園の整備および老朽化対策の推進への支援

三重県

| | |
|---|---|
| 要望内容 | 1　大規模自然災害の備えとして、**緊急輸送道路の無電柱化**に必要な街路整備の**予算を確保**すること。<br>2　**通学路等の安全対策**に必要な街路整備の予算を確保すること。<br>3　大規模自然災害の備えとして、**防災拠点や避難地となる都市公園**整備の予算を確保すること。<br>4　**都市公園の老朽化対策**を着実に実施していくための予算を確保すること。 |

### 街路　緊急輸送道路の無電柱化

千葉県では**令和元年房総半島台風**の影響で、約２千本の**電柱が倒壊**し、停電の長期化など、住民生活に甚大な影響を与えた

台風や地震による電柱倒壊のリスクが軽減できる無電柱化に注目が集まっている

無電柱化を推進するためには多額の予算が必要！

電柱が立ち並ぶ
外宮常磐線

神宮式年遷宮の祭事「お木曳き」にも利用される

伊勢の「お木曳き」行事（前回の写真）



### 街路　通学路等の安全対策

市街地の通学路等は、歩行者の利用が多く、車両の通行も多いが、歩道が未整備となっている箇所があり、歩行者の安全性が確保されていない

住宅等が密集している箇所も多く、用地補償に多額の予算が必要！

野町国府線の状況

通学路等の安全確保が課題



集合住宅等の建物を移転し、整備が進んでいる

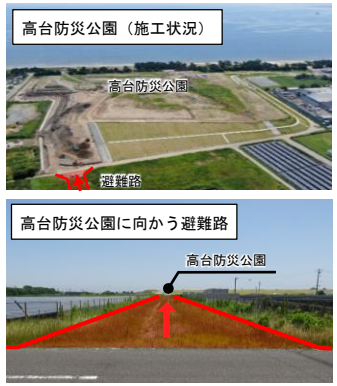


### 都市公園　防災拠点等の機能向上

・政府が南海トラフ地震の発生率を「70～80%」に引き上げ
・激甚化・頻発化する自然災害等により全国各地で甚大な被害が発生

大規模自然災害の備えとして防災安全に資する都市公園整備の重要性は高まっている！

香良洲高台防災公園・避難路（津市）

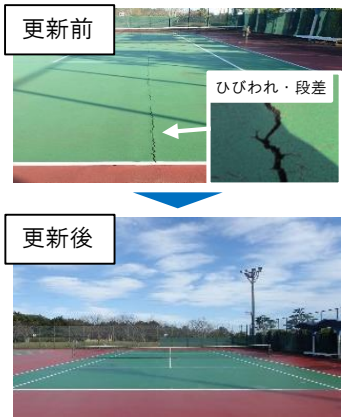



### 都市公園　都市公園の老朽化対策

・公園施設の老朽化が進み、公園利用者の安全・安心が確保できていない施設がある
・施設の老朽化により、南海トラフ地震等の大規模災害発生時に、十分な防災機能が発揮できない可能性がある

長寿命化計画に基づき、計画的な修繕・更新が必要！

大仏山公園




【要望先：財務省、国土交通省】（所管部局：県土整備部）

## 4　魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進
# 市街地における賑わいの創出への支援

三重県

| | |
|---|---|
| 要望内容 | 1　**ウォーカブルな空間**の形成に必要な**予算を確保**すること。<br>2　**ゆとりある「駅まち空間」**の形成に必要な**予算を確保**すること。 |

## 都市再生　ウォーカブルな空間の形成（まちなかウォーカブル推進事業）

人口減少、生産年齢人口の減少により、市街地の活力が低下

市街地に人が集まる動機や居心地の良さが必要！

「ウォーカブル推進都市」の募集に、本県および11市町（津市、四日市市、伊勢市、松阪市、桑名市、鈴鹿市、名張市、亀山市、熊野市、朝日町、明和町）が登録

そのうち、２市が事業実施中

リージョンコアYOKKAICHI地区　中央通り（四日市市）完成イメージ



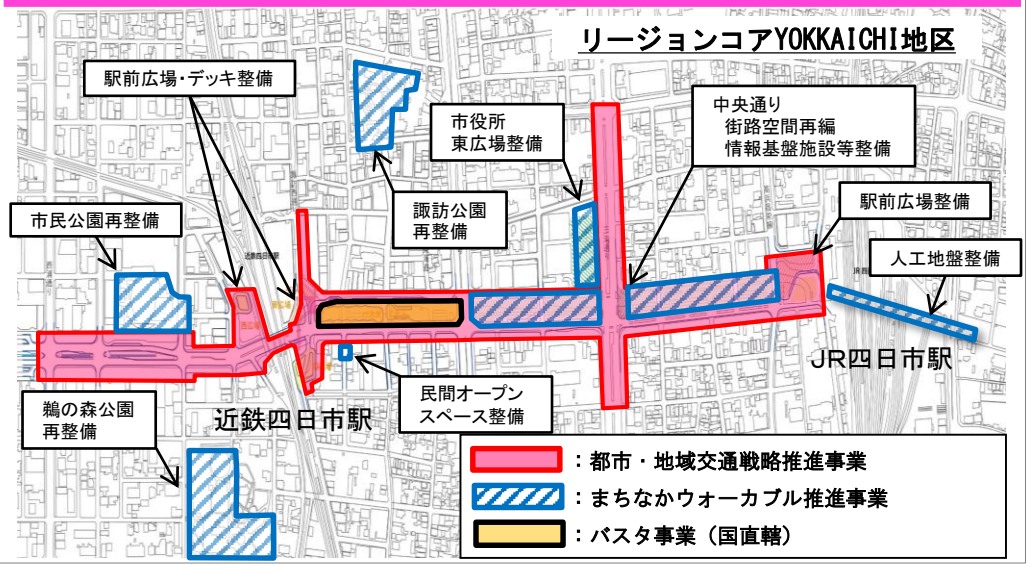

## 街路　ゆとりある「駅まち空間」の形成（都市・地域交通戦略推進事業）

駅前広場の交通動線が錯綜し、駅周辺に人が集う空間が無く、バス乗り場が分散

駅前広場や歩行空間、自転車道の整備により、利便性・快適性・安全性の高いゆとりある駅まち空間の形成をめざす！

リージョンコアYOKKAICHI地区
近鉄四日市駅周辺（四日市市）完成イメージ





4　魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進

# 公営住宅の下水道接続事業の推進、空き家対策の推進、住宅・建築物の耐震化促進、狭あい道路解消促進への支援

三重県

| | |
|---|---|
| 要望内容 | 1　**公営住宅の団地戸数に関わらず、下水道接続工事**を社会資本整備総合交付金**制度の対象**にすること。<br>2　**特定空家等**に対して、市町が緊急的に講じる**安全対策**の費用を空き家対策総合支援事業の**補助対象**とすること。<br>3　耐震性が不十分な**住宅や建築物**を解消するため、**耐震化促進**に必要な**予算を確保**すること。<br>4　安全な市街地形成のため、**狭あい道路整備等促進事業**に必要な**予算を確保**すること。 |

## 公営住宅の下水道接続事業の推進

**団地戸数に関わらず、下水道接続工事を社会資本整備総合交付金制度の対象に**

**現状**

三重県の下水道普及率

令和3年度末 58.9% ➡ 令和17年度末(目標) 75.5%

県営住宅の下水道接続状況

26団地／40団地(65%)　(14団地が未接続)

交付金採択要件

・150戸以上の団地

➡ 要件を満たす団地は1団地のみ

下水道が整備され供用開始すると、接続工事が必要！

**問　題　点**

150戸以上の団地の採択要件があるため、工事が必要な13団地は交付金の対象外



下水道接続工事

**要望**

速やかに下水道接続工事を実施するため、150戸未満の団地も交付金の対象に！

## 空き家対策の推進

**特定空家等からの落下・飛散物等による危害防止のため緊急的な安全対策費用を補助の対象に**

**現状**

所有者不明・不存在又は所有者等の対応拒否により放置された空き家が増加 ➡ 屋根・外壁材等の落下・飛散等により住民や通行人に危害が及ぶおそれ ➡ **市町が緊急的に安全対策を講じる必要が発生**



防護ネット設置



公道

安全対策の例

- 防護ネットの設置
- 侵入対策(バリケード・仮囲い等の設置)　など

**問　題　点**

市町が緊急的に安全対策を講じる費用は国庫補助の対象外

**要望**

市町が、機動的かつ確実に対応できるよう緊急的な安全対策費用を補助金の対象に！

## 住宅・建築物の耐震化促進

**住宅・建築物耐震化促進のために必要な予算確保を**

**現状**

住宅・建築物の耐震化率(三重県)

| 住　宅 | 避難路沿道建築物 |
|---|---|
| 86.1% | 22.7%<br>(22棟／97棟) |

**問　題　点**

耐震性が不十分な

| 住　宅<br>(住生活基本計画)<br>2030年までに | 避難路沿道建築物<br>(国の基本方針)<br>2025年までに |
|---|---|

おおむね解消する必要がある

**住宅、避難路沿道建築物への耐震化の支援**



- 耐震診断補助
- 補強設計補助
- 耐震改修補助
- 除却補助



**要望**

居住者、利用者、まちの安全・安心のために必要な予算確保を！

## 狭あい道路解消促進

**狭あい道路解消促進のために必要な予算の確保を**

**問　題　点**

セットバック部分が未整備だと通行上危険



**狭あい道路整備等促進事業**

- 測量費
- 分筆、登記費
- 工作物等の除却、移設費
- 道路後退部分の舗装工事費



**要望**

安全な市街地の形成のために必要な予算確保を！

【要望先：財務省、国土交通省】（所管部局：県土整備部）